

設 計 書

公共下水道污水管布設工事 第125工区

鹿沼市 下武子町

工 期 133 日

設 計 概 要

施工延長 L=157.9m

・管布設工 φ200VU L=152.4m

・1号マンホール設置工 5箇所

・小型マンホール設置工 2箇所

検算者

設計者

鹿 沼 市 役 所

(甲-1)

設 計 書

	変 更 前 回 実 施			変 更 今 回		
事業費	設計額	工 事 価 格		設計額	工 事 価 格	
内 訳		消 費 税			消 費 税	
工事費 (内消費税相当額)		請 負 工 事 費			請 負 工 事 費	
本工事費	請負額	請 負 価 格		請負額	請 負 価 格	
用地費		消 費 税			消 費 税	
補償費		請 負 代 金			請 負 代 金	
委託費	請 負 率			増 減 額		
事務費	変更理由					

土木工事仕様書

令和6年6月1日適用

I 共通仕様

1. 工事仕様については下記の通りとする

(1) 河川工事、砂防工事、道路工事、公園工事及びこれらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(2) 下水道工事その他これらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

① 日本下水道協会発行の下水道土木工事共通仕様書(案)

<https://www.jswa.jp/>

② 栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(3) 土地改良工事、農道整備工事、農業集落排水工事、農村公園工事及びこれらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

① 栃木県農政部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g02/kyoutuusiyousyo2019.html>

② 栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(4) 治山工事、林道工事、自然公園等施設工事その他これらに類する工事または森林整備業務にかかわる工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

① 栃木県環境森林部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d08/documents/2020042.html>

② 栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(5) 水道工事(導水管、送水管、及び配水管)その他これらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

① 栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

② 日本水道協会の発行する水道工事標準仕様書

<http://www.jwwa.or.jp/>

なお、最新情報及び改訂版等の管理は表記 URL を参照し、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

2. 資材の購入及び下請負業者の選定について

- (1)本工事において、市内で産出、生産又は製造される資材等の規格品質等が設計図書の様様に適合すると認められる場合は優先して使用するよう努めること。また、資材購入についても市内業者より購入するよう努めること。
- (2)下請負業者の選定に当っては、市内業者を優先的に使用するよう努めること。
- (3)一次下請業者に対する工事代金の支払いは、速やかに現金又は90日以内の手形で行うものとする。

3. 成果品の電子納品について

請負者は、原則として成果品の電子納品を実施しなければならない。電子納品に当っては、『鹿沼市電子納品運用ガイドライン』を遵守すること。

4. 工事看板の設置基準について

本工事看板の設置は鹿沼市財務部契約検査課 HP 更新履歴(2007年12月18日付)を参照すること。

5. 建設発生土の処分について

請負者は、建設発生土については前記1の工事仕様に定めることのほか、次のことに注意し施工しなければならない。

- (1)残土運搬・残土処理する場合は関連する諸法令に充分注意し、関係機関と協議するとともに、その旨を監督職員に書面にて報告しなければならない。
- (2)土質試験項目等については、『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例』及び『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する施行規則』による。

II 特記仕様

1. 工事資料の提出について

請負者は、工事資料の作成にあたって別紙の鹿沼市工事資料一覧表を参照すること。

2. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

※法定外の労災保険とは、業務や通勤に起因した労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して、労働者災害補償保険法(労災保険法)による労災補償給付とは別に、企業が独自の立場から補償給付の上積みを行うための保険

3. 週休2日制工事

本工事は、「鹿沼市週休2日制工事試行要領」に基づき受注者の希望により週休2日制工事が実施できる工事である。

4. 舗装版の切断時に発生する濁水の適切な処理について

本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）に基づき適正に処理しなければならない。また、下記の処理施設は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。なお、舗装版切断時に発生する濁水の処理量は設計変更の対象とする。

積算上の処理施設：株式会社セルクリーンセンター（宇都宮市平出工業団地 45-17）

5. 建設発生土処理場所

設計上、発生土の処理場所は、4 km の範囲内に処理すると見込んでいるが、発注後、監督職員と協議する。

6. 熱中症対策に資する現場管理費の補正について

(1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事である。

(2) 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行について（令和元（2019）年度 7 月 19 日付け技管第 159 号）」に基づき行うものとする。

(3) 「熱中症対策に資する現場管理費補正の施行について（令和元（2019）年度 7 月 19 日付け技管第 159 号）」は、栃木県ホームページから取得できる。

（県 HP：<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/20190718.html>）

7. 交通誘導員の配置について

別紙特記仕様書による。

8. 危険有害作業主任者の配置について

下水道工事にあたり、『酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習』を修了した者の中から作業主任者を選任し、その主任者の指揮のもと作業を実施すること。

9. 締固め度の管理について

下水道工事にあたり、共通仕様書に基づき締固め度を管理する。（適用：■）

■路盤（上層路盤・下層路盤：購入材） □路床（置換え路床：購入材）

□路床（現場発生土・現場間流用土） □路体（現場発生土・現場間流用土）

10. 発生土埋戻し及び路盤工について

発生土埋戻しは、一層の仕上がり厚を 20cm 以下とし、タンパ等で十分締固めることまた、路盤工については、一層の仕上がり厚を 15cm 以下とし、所定の機械にて締固めること。

鹿沼市工事資料一覧表

※1 1. 提出書類

No.	工事資料名	500万円未満※4	検査資料	500万円以上	検査資料	備考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-1-10
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-1-10
3	再生資源利用・利用促進(実施)書(計画書は施工計画書)、データ※6	○※3	●	○	●	仕1-1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
4	建設副産物処理承認申請書・同処理調書(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	-	-	○	●	仕1-1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
5	設計図書照査表	△	△	○※2	●	契19、仕1-1-1-3
6	工事履行報告書(工事実施工程表含む):毎月	-	-	○	●	契13、仕1-1-1-24
7	工事打合せ簿総括表、工事打合せ簿(指示・協議・通知・承諾・提出・報告・その他)	○※7	●	○※7	●	契11Ⅱ④
8	確認・立会願・段階確認書(状況写真添付)	-	-	○	●	契11Ⅱ③、仕3-1-1-6
9	工事写真(電子データ)※8	○	●	○	●	契約16、鹿沼市電子納品ガイドライン
10	使用材料報告書(承認願)(再生クラッシュラン(RC材)骨材品質確認状況報告書含む)	○	●	○	●	契15、再生材の利用基準
11	施工計画書(再生資源利用・利用促進計画書含む)	○※3	●	○	●	仕1-1-1-4、土木工事施工計画書作成の手引き
12	施工管理報告書(品質管理、出来形管理)	○	●	○	●	仕1-1-1-23(出来形・品質)
13	台帳関係(舗装・橋梁・照明・標識等)、工事完成図	該当がある場合			●	仕1-1-1-19、特記仕様書
14	電子納品成果品(事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む)	電子納品範囲については監督員との協議による			●	鹿沼市電子納品ガイドライン
15	その他	監督員が必要と認める資料			●	
		○:作成資料 ●:検査で確認する資料 △:該当する場合に作成する資料(検査で確認)				

・様式については栃木県土木工事共通仕様書様式集を参照する。

※1 提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2 様式総一3のうち、『栃木県建設工事(変更)請負契約書第19条第1項及び』の記載を削除する。

※3 500万円未満の施工計画書に記載する事項
 1 工事概要
 2 現場組織表
 3 緊急時の施工体制及び対応
 4 再生資源利用・利用促進(計画)書
 5 その他(請負者・発注者が工事施工上必要な事項)

※4 請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。(施工計画書等は不要)

※6 建設副産物情報交換システム(COBRIS)を利用して登録した場合は、電子データの提出不要。電子データで提出する場合、国土交通省のホームページより配布している様式(Excel版)で作成する。

※7 「通知」「提出」「報告」「届出」は、電子メールでの提出も可とする。この場合、メール文を印刷することで発議者の押印は省略する。(処理・回答の決裁は必要)提出の頻度は、月に2回程度を標準とし、監督職員との協議により決定する。「指示」「協議」に関する工事打合せ簿は、従来通りの扱いとする。

※8 インデックスプリントは監督員が指示した場合作成する。(省略する場合は、検査時に電子データ(写真等)を確認できる用意をする。)

注)

建	建設業法
建則	建設業法施工規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労働基準法
土指針	土木工事安全施工技術指針
契	鹿沼市建設工事請負契約書
仕	栃木県土木工事共通仕様書
考査	考査項目別運用表

※5 2. 請負者手持ち資料(検査を受けた年度の翌年から5年間保存)

No.	工事資料名	検査資料	備考
1	安全教育実施記録簿(写真添付)		仕1-1-1-26
2	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、仕1-1-1-18
3	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		仕1-1-1-40
4	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安4、安則16
5	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安則15
6	KY 活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則24の11
7	重機等の検査証写し及び点検記録簿(自主点検票写真)		安則169
8	重機作業における誘導員及び人との分離措置状況写真		安則158
9	作業員名簿(自社・下請)		労基107
10	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考査
11	保安施設記録簿資料		土指針2-2,3
12	山留め、仮締切等の設置後点検記録		安則375
13	足場、支保工等の設置後点検記録		安則567
14	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		考査
15	各種安全パトロール指摘事項は正報告書		考査
16	舗装切り取りコア等(500㎡未満で異常が認められない場合には不要、確認は納入伝票等で行うものとする。)	△	仕1-1-1-23(出来形・品質)
17	工事カルテ(請負額500万円以上)		仕1-1-1-5
18	交通整理員集計表及び伝票	△	仕1-1-1-23(出来形・品質)
19	創意工夫提案資料(状況写真添付)		考査
20	各機関等許可証等		仕1-1-1-35
21	地域コミュニケーション、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考査
		△該当がある場合は(検査で確認する資料)	

※5 請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求められることがあるもの。(原本・原稿等提示)

特記仕様書

1. 交通誘導員について

交通誘導員については、警備業法による警備員とし配置場所は監督員と協議するものとする。なお警備員は、下記のとおり延べ 24 人見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合等は別途協議する。

区分	現場条件	交通誘導員A			交通誘導員B		
		日数	配置	人数	日数	配置	人数
1	昼間勤務(8:00～17:00) 実働8時間(交代要員無し)				24	1	24
2	昼間勤務(8:00～17:00) 実働9時間(交代要員有り)						
3	夜間勤務(20:00～5:00) 実働8時間(交代要員無し)						
4	夜間勤務(20:00～5:00) 実働9時間(交代要員有り)						
5	24時間勤務 実働22時間(交代要員無し)						
6	24時間勤務 実働22時間(交代要員有り)						

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	05 鹿沼市 実施設計書 当初 07-05006700000-40 0		
適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	1 実施単価 21 鹿 沼土木事務所管内 0-070510(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 一般公共 公共下水道污水管布設工事第125工区. ES5		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 ICT間接費率補正の有無 消費税等の率	40 31 下水道（2）工事 00 計上しない 12 市街地以外 02 一般交通影響あり（2） 01 補正なし 01 補正なし 01 金銭的保証 01 補正なし 06 10%適用		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本 工 事									X1000	
管路									Y10ZZ	
管きよ工 (開削)					1 式				Y103W	
管路土工					1 式				Y103W2DV	
管路掘削					1 式				Y103W2DV51I	
床掘り 土砂 小規模 全ての費用	143		m	3					SZA161 0	
機械掘削工 (バックホウ)	202		m	3					SK005 0	施工 第0-0005号内訳表
管路埋戻					1 式				Y103W2DV51J	
機械投入埋戻工 (バックホウ)									SK025 0	
発生土 砂質土 (普通土)	65		m	3						施工 第0-0008号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管基礎工			1 式			Y103W2DX
砂基礎			1 式			Y103W2DX51X
砂基礎工 (機械施工)	55		m ³			SK985 0 施工 第0-0018号内訳表
管路土留工			1 式			Y103W2E0
たて込み簡易土留材建込工 (両側分) 掘削深 2.0m以下	64.9		m			SK070 0 施工 第0-0019号内訳表
たて込み簡易土留材引抜工 (両側分) 掘削深 2.0m以下	64.9		m			SK070 0 施工 第0-0021号内訳表
たて込み簡易土留材建込工 (両側分) 掘削深 3.0m以下	93.0		m			SK070 0 施工 第0-0022号内訳表
たて込み簡易土留材引抜工 (両側分) 掘削深 3.0m以下	93.0		m			SK070 0 施工 第0-0023号内訳表
土留賃料	1		式			W00001

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
マンホール工			1 式			Y1040
組立マンホール工			1 式			Y10402FX
組立 1 号マンホール			1 式			Y10402FX5AF
マンホール鉄蓋 T-25 φ600mm H110mm 圧力開放型浮上防止タイプ	5		組			T5333 0
調整金具 調整高45mmまで	5		個			T5555 0
調整リング (1号 5cm) H= 50mm	3		個			T5309 0
調整リング (2号10cm) H= 100mm	1		個			T5310 0
組立式 1 号マンホール (斜壁) 上φ600×下φ900×H600mm	5		個			T5503 0
組立式 1 号マンホール (直壁) φ900×H300mm	2		個			T5504 0

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
組立式1号マンホール（く体ブロック） φ900×H1200mm	2			個					T5514	0
組立式1号マンホール（く体ブロック） φ900×H1800mm	3			個					T5516	0
組立式1号マンホール（底版） 有効高130mm	5			個					T5522	0
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ3m以下	5			箇所					SK994	0
砕石基礎工 1号マンホール	5			箇所					V0100	0
インバート工 1号マンホール	6			箇所					V0200	0
マンホール削孔費 φ150VU 建設物価/積算資料	1			箇所					W00002	999
マンホール削孔費 φ200VU 建設物価/積算資料	6			箇所					W00003	999
マンホール用可とう継手 φ200VU 建設物価/積算資料	11			個					W00004	999

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
外副管設置工 φ200-150	1			箇所					G0100	
小型マンホール工				1式					科目 第0001号内訳表 Y10402FY	
小型マンホール				1式					Y10402FY546	
小型マンホール鉄蓋 T-25 φ300 直接ふた JSWAS G4 建設物価/積算資料	2			組					W0100	999
調整リング H=50mm 建設物価/積算資料	1			個					W0200	999
小型レジンマンホール (上部壁) H=200mm 建設物価/積算資料	2			個					W0300	999
小型レジンマンホール (直壁) H=150mm 建設物価/積算資料	1			個					W0400	999
小型レジンマンホール (直壁) H=900mm 建設物価/積算資料	4			個					W0500	999
小型レジンマンホール (管取付壁) 中間用 φ200用二方向 H=390mm 建設物価/積算資料	2			個					W0600	999

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型レジンマンホール (底版) 底版 H=70mm 建設物価/積算資料	2		個			W0700 999
小型レジンマンホール (アダプタセット) φ 200IN 建設物価/積算資料	2		個			W0800 999
小型レジンマンホール (アダプタセット) φ 200OUT 建設物価/積算資料	2		個			W0900 999
小型マンホール設置工 (レジンC o製) マンホール深さ 3.00m以下	2		箇所			SK174 0 施工 第0-0029号内訳表
付帯工			1 式			Y1043
舗装版破碎工			1 式			Y10432EY
殻運搬			1 式			Y10432EYA0K
殻運搬 舗装版破碎 3.5km以下 全ての費用	8		m ³			SZA961 0 施工 第0-0030号内訳表
殻処分			1 式			Y10432EYA0L

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費 アスファルト	8		m	3					S0020	0
処分費 舗装版切断汚泥	0.4		m	3					S0020	0
舗装版切断運搬費（汚泥） 2 t 車 片道 2.5 km まで	0.4		m	3					T8232	0
舗装版切断				1	式				Y10432EY485	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	315.8		m						SZD321	0
舗装版破碎				1	式				Y10432EY486	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 全ての費用	150		m	2					SZD311	0
舗装仮復旧工（種別毎）				1	式				Y10432F3	
下層路盤（車道・路肩部）				1	式				Y10432F3A1J	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
路盤工（人力施工） 車道部下層路盤 仕上り厚400mm	150		m	2					S1808	0
表層（車道・路肩部）					1	式			Y10432F3A1S	
表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚50mm 全ての費用	150		m	2					SZD023	0
仮設工					1	式			Y1000	
交通管理工					1	式			Y1000232	
交通誘導警備員					1	式			Y1000232Y21	
交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員B	1					式			S0914	0
										施工 第0-0037号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
運搬費			1 式			Z0004
仮設材等の運搬 製品長 1.2 m以内 運搬距離 2.5 km (×往復)	5.5		t			SA005 0 施工 第0-0039号内訳表
技術管理費			1 式			Z0006
産業廃棄物の分析 溶出試験 10検体まで 六価クロム化合物	1		検体			T9065 0
共通仮設費 (率分)			1 式			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費			1 式			

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 工事原価 **						
一般管理費等			1 式			
契約保証費			1 式			
** 一般管理費等計 **						
** 工事価格 **						
** 工事価格計 **						
消費税・地方 消費税額			1 式			
** 請負工事費 **						

外副管設置工

科目内訳表

φ200-150

1

当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
外副管取付工 硬質塩化ビニル管 段差 3.0m以上～3.5m未満	1	箇所			SK165 0 施工 第0-0001号内訳表
硬質塩ビ管 (支管) 塩ビ管用90度支管 φ150	1	個			T5629 0
硬質塩ビ管 (その他の継手) 接着受口カラー取付管用 φ150	1	個			T5654 0
硬質塩化ビニール管 (直管) プレーンエンド直管 φ150×4m	0.68	本			T5611 0
硬質塩ビ管 (副管用継手) 90度曲管 φ150×170mm	1	個			T5625 0
基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュラン RC-40 全ての費用	0.21	m ²			SZA391 0 施工 第0-0002号内訳表
型枠 一般型枠 小型構造物	4.63	m ²			SZB431 0 施工 第0-0003号内訳表
コンクリート 小型構造物 人力打設 全ての費用	0.65	m ³			SZB401 0 施工 第0-0004号内訳表
計	1				

施工内訳表

外副管取付工
硬質塩化ビニル管

段差 3.0m以上～3.5m未満

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
小計	1	箇所			
A 段差	=6				

施工内訳表

施工 第0-0002号内訳表

基礎砕石
17.5cmを超え20.0cm以下
機械構成比：

SZA391
再生クラッシュラン RC-40
労務構成比：

全ての費用
市場単価構成比：

1
標準単価：

m 2 当り

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料			バックホウ [クローラ型] 賃料		KQ012
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

全ての費用

市場単価構成比：

標準単価：

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシュラン RC-40			再生クラッシュラン RC-40		TCF04
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

1 m 2 当り

SZB431

小型構造物

標準単価:

市場単価構成比:

材料構成比:

労務構成比:

機械構成比:

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工			型わく工		RA165
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0004号内訳表

SZB401

人力打設

全ての費用

1

m 3 当り

コンクリート

小型構造物

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
特殊作業員			特殊作業員		RA005
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート(18-8-25) (W/C指定なし)			生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55%		T1101
積算単価			積算単価		EP001

施工内訳表

機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 全ての費用
 市場単価構成比： 標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小計					

施工内訳表

施工 第0-0005号内訳表

SZA161

小規模

全ての費用

1

m 3 当り

床掘り

土砂

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		MA204
運転手(特殊)			運転手(特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

機械掘削工 (バックホウ)

施工内訳表

100 m³ 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準		時間			SX040 施工 第0-0007号内訳表
計	100	m ³			
小計	1	m ³			
A バックホウ規格 C 豪雪割増	=1 =1		B バックホウ機種		=2

施工内訳表

機械投入埋戻工（バックホウ）

発生土 砂質土（普通土）

100 m³ 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準		時間			SX040 施工 第0-0007号内訳表
タンパ締固め	100.000	m ³			SZA185 施工 第0-0009号内訳表
計	100	m ³			
小計	1	m ³			
A バックホウ規格 C 埋戻土種別 E 豪雪割増	=1 =1 =1		B 土質区分 D バックホウ機種		=4 =2

施工内訳表

施工 第0-0009号内訳表

SZA185

1 m 3 当り

全ての費用
市場単価構成比：

標準単価：

材料構成比：

労務構成比：

機械構成比：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
タンパ(ランマ)賃料			タンパ(ランマ)賃料		KQ632
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0010号内訳表

SZA181

小規模

全ての費用

1

m 3 当り

埋戻し

土砂

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次			バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		MA204
タンパ及びランマ [ランマ]			タンパ及びランマ [ランマ]		MC271
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
運転手(特殊)			運転手(特殊)		RA070
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24

施工内訳表

全ての費用

市場単価構成比：

標準単価：

材料構成比：

労務構成比：

機械構成比：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0011号内訳表

土砂等運搬

SZA105

土砂(岩塊・玉石混り土含む)

1.0km以下

1

m 3 当り

小規模

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA402
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		供用日			MA402
運転手 (一般)		人			RA075
軽油	32.000	L			TSX24
タイヤ損耗費 ダンプトラック		供用日			KP110
小計	1	日			
A 規格	=2		B タイヤ損耗費区分 (運搬路面状況)	=1	
C 岩石割増	=1		D 供用日当運転時間 (標準=省略)	=0	
E 豪雪割増	=1		F ダンプトラック (供用日/日)	=1.29	
G 一般運転手 (人/日)	=1		H 軽油 (L/日)	=32	
I タイヤ損耗費 (供用日/日)	=1.29				

施工内訳表

施工 第0-0014号内訳表

1 m 3 当り

標準単価:

市場単価構成比:

材料構成比:

労務構成比:

SZA125
土量50,000m3未満

積込 (ルーズ)
土砂
機械構成比:

代表機労材規格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2014			バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2014		MA19S
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0015号内訳表

土砂等運搬

SZA105

土砂(岩塊・玉石混り土含む)

0.5km以下

1

m 3 当り

標準

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0016号内訳表

土砂等運搬

SZA105

土砂(岩塊・玉石混り土含む)

4.0km以下

1

m 3 当り

標準

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施 工 内 訳 表

たて込み簡易土留材建込工（両側分）
掘削深 2.0m以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準		時間			SX040 施工 第0-0020号内訳表
計	10	m			
小計	1	m			
A 作業区分 C バックホウ機種（A = 1時選択）	=1 =2		B 掘削深 F 豪雪割増		=2 =1

施工内訳表

バックホウ運転
クローラ型・標準

排出ガス対策型2次基準

1 時間 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		時間			MA181
運転手（特殊）		人			RA070
軽油	5.900	L			TSX24
小計	1	時間			
A 規格	=1		B 機種		=2
C 岩石割増	=1		D 供用日当運転時間（標準＝省略）		=0
E 豪雪割増	=1		F 特殊運転手（人／h）標準＝省略		=0
G 軽油（L／h）標準＝省略	=0				

施 工 内 訳 表

たて込み簡易土留材引抜工（両側分）
掘削深 2.0m以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料		日			KQ305
計	10	m			
小計	1	m			
A 作業区分 E クレーン賃料補正係数（標準＝省略）	=2 =0		B 掘削深 F 豪雪割増		=2 =1

施 工 内 訳 表

たて込み簡易土留材建込工（両側分）
掘削深 3.0m以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
バックホウ運転 クローラ型・標準 排出ガス対策型2次基準		時間			SX040 施工 第0-0020号内訳表
計	10	m			
小計	1	m			
A 作業区分 C バックホウ機種（A＝1時選択）	=1 =2		B 掘削深 F 豪雪割増		=4 =1

施 工 内 訳 表

たて込み簡易土留材引抜工（両側分）
掘削深 3.0m以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料		日			KQ305
計	10	m			
小計	1	m			
A 作業区分 E クレーン賃料補正係数（標準＝省略）	=2 =0		B 掘削深 F 豪雪割増		=4 =1

施工内訳表

施工 第0-0027号内訳表

コンクリート
無筋・鉄筋構造物
機械構成比：

SZB401

人力打設

全ての費用
市場単価構成比：

1

m 3 当り

労務構成比：

材料構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員			普通作業員		RA010
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート(18-8-25) (W/C指定なし)			生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C 55%		T1101
積算単価			積算単価		EP001

施 工 内 訳 表

小型マンホール設置工（レジンC o 製）
マンホール深さ 3.00m以下

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
諸雑費		%			#09
小 計	1	箇所			
A マンホール深さ	=5				

施工内訳表

施工 第0-0030号内訳表

SZA961

3.5km以下

全ての費用

1

m 3 当り

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単 価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0033号内訳表

SZD321

15cm以下

全ての費用

1

m

当り

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音			コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		MC448
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
普通作業員			普通作業員		RA010
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工内訳表

頁0-0051

当り

全ての費用

市場単価構成比：

標準単価：

材料構成比：

労務構成比：

機械構成比：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)			ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)		TSD05
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0034号内訳表

1 m 2 当り

標準単価:

全ての費用
市場単価構成比:

材料構成比:

SZD311
騒音振動対策不要

労務構成比:

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比:

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料			バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		KQ049
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
普通作業員			普通作業員		RA010
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001

施工内訳表

頁0-0053

当り

全ての費用

市場単価構成比：

標準単価：

材料構成比：

労務構成比：

機械構成比：

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)	備 考
小計					

施工内訳表

施工 第0-0036号内訳表

表層 (車道・路肩部)

SZD023

平均仕上り厚 50 mm

全ての費用

1

m 2

当り

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]			振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式]		MC246
振動コンパクタ [前進型]			振動コンパクタ [前進型]		MC274
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125

施工内訳表

頁0-0056

当り

全ての費用

市場単価構成比：

標準単価：

材料構成比：

労務構成比：

機械構成比：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)			アスファルト混合物 密粒度(20)		T1480
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		TG402
ガソリン レギュラー スタンド			ガソリン レギュラー スタンド		TSX32
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工内訳表

全ての費用

市場単価構成比：

標準単価：

材料構成比：

労務構成比：

機械構成比：

代表機材規格 積算単価	構成比	単価	代表機材規格(東京地区) 積算単価	単価(東京地区)	備考
					EP001
小計					

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量/ 単位	単価 金額	条 件 名 称 価 称
G0100	外副管設置工 φ200-150	1		
SK165	外副管取付工 硬質塩化ビニル管	1 箇所		A=6 A=段差 3.0m以上～3.5m未満
T5629	硬質塩ビ管（支管） 塩ビ管用90度支管 φ150	1 個		
T5654	硬質塩ビ管（その他の継手） 接着受口カラー取付管用 φ150	1 個		
T5611	硬質塩化ビニル管（直管） プレーンエンド直管 φ150×4m	0.68 本		
T5625	硬質塩ビ管（副管用継手） 90度曲管 φ150×170mm	1 個		
SZA391	基礎砕石 17.5cmを超え20.0cm以下	0.21 m ²		A=4 A=17.5cmを超え20.0cm以下
SZB431	型枠 一般型枠	4.63 m ²		A=1, B=2 A=一般型枠, B=小型構造物
SZB401	コンクリート 小型構造物	0.65 m ³		A=2, B=4, E=2, G=2, K=1, L=4, M=1, Q=1, R=1 A=小型構造物, B=人力打設, E=一般養生, G=現場内小運搬なし, K= 高 炉セメント, L=18-8-25, M=普通車運搬, Q=0<L(km) ≤ 10, R=水セメント比指定なし

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量/ 単位	単価 金額	条件 件名	値 称
X1000	**本工事**				
Y10ZZ	管路	1式			
Y103W	管きよ工（開削）	1式			
Y103W2DV	管路土工	1式			
Y103W2DV51I	管路掘削	1式			
SZA161	床掘り 土砂	143 m ³		A=1, B=5 A=土砂, B=小規模	
SK005	機械掘削工（バックホウ）	202 m ³		A=1, B=2 B=排出ガス対策型2次基準	
Y103W2DV51J	管路埋戻	1式			
SK025	機械投入埋戻工（バックホウ）	65 m ³		A=1, B=4, C=1, D=2 B=砂質土（普通土）, C=発生土, D=排出ガス対策型2次基準	
SZA181	埋戻し 土砂	157 m ³		A=5, B=1 A=小規模, B=土砂	
Y103W2DV6VU	埋戻土運搬	1式			
SZA105	土砂等運搬 小規模	143 m ³		A=2, B=5, C=1, D=1, G=0.5 A=小規模, C=土砂(岩塊・玉石混り土含む), D=DID区間なし, G=運搬距離 [km]	
SK035	発生土運搬工 運搬距離0.5km DID地区なし	202 m ³		A=2, B=3, C=1, D=0.5, E=1 C=DID地区なし, D=運搬距離(km), E=運搬路面状況 良好	
SZA125	積込（ルーズ） 土砂	344 m ³		A=1, B=1, C=2 A=土砂, B=土量50,000m ³ 未満, C=豪雪割増なし	
SZA105	土砂等運搬 標準	246 m ³		A=1, B=1, C=1, D=1, G=0.5 A=標準, C=土砂(岩塊・玉石混り土含む), D=DID区間なし, G=運搬距離 [km]	
SZA105	土砂等運搬 標準	98 m ³		A=1, B=1, C=1, D=1, G=4 A=標準, C=土砂(岩塊・玉石混り土含む), D=DID区間なし, G=運搬距離	

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条件 名称 値称
				[k m]
Y103W2DW	管布設工	1 式		
SK980	硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 200 mm	152.4 m		A=2, B=1, C=1, D=1 A=呼び径 200 mm, B=施工規模 20 m 以上, C=時間的制約なし, D=夜間作業 (20 時～6 時) なし
Y103W2DX	管基礎工	1 式		
Y103W2DX51X	砂基礎	1 式		
SK985	砂基礎工 (機械施工)	55 m ³		A=1, B=1, C=1, D=1, E=2, F=1.26 A=施工規模 10 m ³ 以上, B=時間的制約なし, C=夜間作業 (20 時 ～6 時) なし, D=砂計上あり, E=再生砂, F=砂数量 (m ³ /m ³) (土量変化率考慮)
Y103W2E0	管路土留工	1 式		
SK070	たて込み簡易土留材建込工 (両側分) 掘削深 2.0 m 以下	64.9 m		A=1, B=2, C=2 A=建込み, B=掘削深 2.0 m 以下, C=排出ガス対策型 2 次基準
SK070	たて込み簡易土留材引抜き工 (両側分) 掘削深 2.0 m 以下	64.9 m		A=2, B=2 A=引抜き, B=掘削深 2.0 m 以下
SK070	たて込み簡易土留材建込工 (両側分) 掘削深 3.0 m 以下	93.0 m		A=1, B=4, C=2 A=建込み, B=掘削深 3.0 m 以下, C=排出ガス対策型 2 次基準
SK070	たて込み簡易土留材引抜き工 (両側分) 掘削深 3.0 m 以下	93.0 m		A=2, B=4 A=引抜き, B=掘削深 3.0 m 以下
W00001	土留賃料	1 式		A=261360, B=0, C=999 A=単価, B=2 次製品区分, C=機労材集計区分
Y1040	マンホール工	1 式		
Y10402FX	組立マンホール工	1 式		
Y10402FX5AF	組立 1 号マンホール	1 式		
T5333	マンホール鉄蓋 T-25 φ600 mm H110 mm	5 組		

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称
T5555	調整金具 調整高45mmまで	5 個		
T5309	調整リング(1号 5cm) H=50mm	3 個		
T5310	調整リング(2号10cm) H=100mm	1 個		
T5503	組立式1号マンホール(斜壁) 上φ600×下φ900×H600mm	5 個		
T5504	組立式1号マンホール(直壁) φ900×H300mm	2 個		
T5514	組立式1号マンホール(く体ブロック) φ900×H1200mm	2 個		
T5516	組立式1号マンホール(く体ブロック) φ900×H1800mm	3 個		
T5522	組立式1号マンホール(底版) 有効高130mm	5 個		
SK994	組立マンホール設置工 1号マンホール深さ3m以下	5 箇所		A=7, B=1, C=1, D=1 A=1号マンホール深さ3m以下, B=施工規模 4箇所以上, C=時間 的制約なし, D=夜間作業(20時~6時)なし
V0100	碎石基礎工 1号マンホール	5 箇所		
V0200	インバート工 1号マンホール	6 箇所		
W00002	マンホール削孔費 φ150VU	1 箇所		A=6710, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機労材集計区分
W00003	マンホール削孔費 φ200VU	6 箇所		A=8060, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機労材集計区分
W00004	マンホール用可とう継手 φ200VU	11 個		A=10650, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機労材集計区分
G0100	外副管設置工 φ200-150	1 箇所		
Y10402FY	小型マンホール工	1式		
Y10402FY546	小型マンホール	1式		

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量/ 単位	単価 金額	条 件 名 称
W0100	小型マンホール鉄蓋 T-25 φ300	2 組		A=31500, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0200	調整リング H=50mm	1 個		A=7990, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0300	小型レジンマンホール (上部壁) H=200mm	2 個		A=16500, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0400	小型レジンマンホール (直壁) H=150mm	1 個		A=6120, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0500	小型レジンマンホール (直壁) H=900mm	4 個		A=24900, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0600	小型レジンマンホール (管取付壁) 中間用 φ200用二方向	2 個		A=49700, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0700	小型レジンマンホール (底版) 底版	2 個		A=8840, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0800	小型レジンマンホール (アダプタセット) φ200IN	2 個		A=12400, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
W0900	小型レジンマンホール (アダプタセット) φ200OUT	2 個		A=11700, B=0, C=999 A=単価, B=2次製品区分, C=機材集計区分
SK174	小型マンホール設置工 (レジンC o製) マンホール深さ 3.00m以下	2 箇所		A=5 A=マンホール深さ 3.00m以下
Y1043	付帯工	1 式		
Y10432EY	舗装版破碎工	1 式		
Y10432EYAOK	殻運搬	1 式		
SZA961	殻運搬 舗装版破碎	8 m 3		A=3, B=3, C=1, G=2.2 A=舗装版破碎, B=機械積込 (騒音対策不要、舗装版厚15cm以下), C=DI D区間なし, G=運搬距離 [k m]
Y10432EYAOL	殻処分	1 式		
S0020	処分費 アスファルト	8 m 3		A=3 A=アスファルト
S0020	処分費 舗装版切断汚泥	0.4 m 3		A=5 A=舗装版切断汚泥

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称
T8232	舗装版切断運搬費（汚泥） 2 t車 片道2.5 kmまで	0.4 m ³		
Y10432EY485	舗装版切断	1式		
SZD321	舗装版切断 アスファルト舗装版	315.8 m		A=1, B=1 A=アスファルト舗装版, B=15cm以下
Y10432EY486	舗装版破碎	1式		
SZD311	舗装版破碎 アスファルト舗装版	150 m ²		A=1, B=1, C=1, D=1, F=1 A=アスファルト舗装版, B=障害等なし, C=騒音振動対策不要, D=15cm以下, F =積込作業あり
Y10432F3	舗装仮復旧工（種別毎）	1式		
Y10432F3A1J	下層路盤（車道・路肩部）	1式		
S1808	路盤工（人力施工） 車道部下層路盤	150 m ²		A=3, B=1, C=2, D=400 A=車道部下層路盤, B=W ≤ 1.6, C=再生クラッシャーラン RC- 40, D=路盤厚さ（mm）
Y10432F3A1S	表層（車道・路肩部）	1式		
SZD023	表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	150 m ²		A=1, B=50, C=1, D=2, E=24, F=2, H=1 A=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下), B=1層当り平均仕上り 厚(mm), C=2.35t/m ³ , D=プライムコート, E=エコスラグ入り再生密粒度アス コン(20)-50, F=プライムコート PK-3, H=夜間割増なし
Y1000	仮設工	1式		
Y1000232	交通管理工	1式		
Y1000232Y21	交通誘導警備員	1式		
S0914	交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員B	1 式		A=24, B=1, C=2 A=必要日数, B=配置人数, C=交通誘導警備員B
G0000	**直接工事費**			

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称 価 値
Z0004	運搬費	1 式		
SA005	仮設材等の運搬 製品長 1.2 m 以内	5.5 t		A=1, B=2.5, C=3, D=1, F=2, G=2, J=4 A=製品長 1.2 m 以内, B=片道運搬距離 (k m), C=往復運搬, D=深夜 早朝割増なし, F=有料道路利用料計上なし, G=その他の諸料金計上なし, J=積込み, 取卸し (往復分)
Z0006	技術管理費	1 式		
T9065	産業廃棄物の分析 溶出試験 10検体まで 六価クロム化合物	1 検体		
Z0050	共通仮設費 (率分)	1 式		
G1000	** 共通仮設費計 **			
G2000	** 純工事費 **			
Z0020	現場管理費	1 式		
G4000	** 工事原価 **			
Z0030	一般管理費等	1 式		
Z0032	契約保証費	1 式		
G3200	** 一般管理費等計 **			
G4800	** 工事価格 **			
G4500	** 工事価格計 **			
Z0039	消費税・地方消費税額	1 式		
G4900	** 請負工事費 **			

数量総括表

種 目	形状寸法	計 算 式	数 量
マンホール鉄蓋	T-25 φ600 浮上防止用		5 組
調整金具			5 個
調整リング	H=50mm		3 個
調整リング	H=100mm		1 個
1号マンホール（斜壁）	H=600mm		5 個
1号マンホール（直壁）	H=300mm		2 個
1号マンホール（く体）	H=1200mm		2 個
1号マンホール（く体）	H=1800mm		3 個
1号マンホール（底板）	H=130mm		5 個
1号マンホール設置工	マンホール深さ 3.0m以下		5 箇所
砕石基礎工	1号マンホール RC40cm/t=20cm		5 箇所
インバート工	1号マンホール 18-8-25BB		6 箇所
削孔費	φ150 V U		1 箇所
削孔費	φ200 V U		6 箇所
可とう継手	φ200用		11 個
外副管設置工	φ200-150		1 箇所
小型マンホール鉄蓋	T-25 φ300 直接ふた		2 組
調整リング	H=50mm		1 個
小型レジンマンホール（上部壁）	H=200mm		2 個
小型レジンマンホール（直壁）	H=150mm		1 個
小型レジンマンホール（直壁）	H=900mm		4 個
小型レジンマンホール（管取付壁）	中間用 H=390mm		2 個
小型レジンマンホール（底板）	H=70mm		2 個
アダプタセット	Φ200 IN		2 個
アダプタセット	Φ200 OUT		2 個
小型マンホール設置工	マンホール深さ 3.0m以下		2 箇所

Case.1

補助		数量計算表												第 127	工区			
設計条件	管径	掘削幅	掘削土質	土留種別	管基礎条件	埋戻土条件	舗装構成								その他			
	VU 200	W 0.95 バックホウ 0.28	粘性土	建込み	基礎種別 再生砂基礎	埋戻土条件 発生土	現況				復旧				基礎断面積 Ak = 0.362 m ²	管外断面積 A = 0.037 m ²		
							管理者の別	国道	県道	市道	市道(未舗装)	国道	県道	市道			市道(未舗装)	
							全厚 (cm)			45				45				
							表層 (cm)			5				5				
							中間層 (cm)											
基層 (cm)																		
下層 (cm)							40				40							
路線番号	測点 (マンホール番号)	掘削深 (m)	平均掘削深 H	路線延長 L	掘削工					埋戻工					道路種別	備考 (土工平均断面)		
	上流側	上流側 A	(m)	(m)	舗装復旧工 (路盤工)	舗装版直接 掘削	舗装切断工	予掘り工	機械掘削工	埋戻1		埋戻2	残土処分					
	下流側	下流側 B			(m ²)	(m ²)	(m)	Y	Z	発生土 G	発生土	発生土	発生土	アスファルト塊			土砂	
			H=(A+B)/2	L	L×W	L×W	L×2	W×(1.0-t) ×L	W×(H-1.0) ×L	(W×hg)×L			W×hi×L	As	Y+Z-(G+I)/0.9			
127	1 0+4.38	1.93 1.94	1.94	30.32	28.80	28.80	60.6	27.4	27.1	0.6			30.2	1.4	20.3	市道	掘削深= 1.94 舗装= 0.45 埋戻2= 1.05 埋戻1= 0.02	
127	2 1	1.90 1.95	1.93	10.60	10.07	10.07	21.2	9.6	9.4	0.1			10.6	0.5	7.1	市道	掘削深= 1.93 舗装= 0.45 埋戻2= 1.05 埋戻1= 0.01	
																	掘削深= 舗装= 埋戻2= 埋戻1=	
																	掘削深= 舗装= 埋戻2= 埋戻1=	
																	掘削深= 舗装= 埋戻2= 埋戻1=	
																	掘削深= 舗装= 埋戻2= 埋戻1=	
																	掘削深= 舗装= 埋戻2= 埋戻1=	
小計	加重平均掘削深 =	1.94	79.28	40.92	38.87	38.87	81.84	37.00	36.50	0.70			40.80	1.94	27.40	加重平均	掘削深= 舗装= 埋戻2= 埋戻1=	

管・基礎数量計算表

(硬質塩化ビニル管 φ 200 mm)

公第 125 工区

路線番号	測 点	路線延長 (m)	人孔による 減長(内径) (m)	副管による 減長 (m)	補強コンクリート による減長 (m)	人孔による 減長(壁厚) (m)	管渠延長 (m)	基礎延長 (m)	掘削幅 (m)	管基礎 施工角 (度)	基 礎 断面積 (m ²)	管本数 (一本管) 4.00 (m/本)	管本数 (半管) (m/本)	可とう性 マンホール継手 (個)	備 考
125	No. 0 ~No. 1	24.00	0.90			0.16	23.10	22.94	0.95	360	0.362	5		2	3.1
125	No. 1 2	8.00	0.90			0.16	7.10	6.94	0.95	360	0.362	1		2	3.1
125	No. 2 3	13.00	0.60			0.09	12.40	12.31	0.95	360	0.362	3		1	0.4
125	No. 3 4	14.00	0.30			0.03	13.70	13.67	0.95	360	0.362	3			1.7
125	No. 4 5	8.00	0.60			0.09	7.40	7.31	0.95	360	0.362	1		1	3.4
125	No. 5 6	50.00	0.90			0.16	49.10	48.94	0.95	360	0.362	12		2	1.1
		117.00	4.20			0.69	112.80	112.11				25		8	12.8

砂基礎
112.11 × 0.362 プレーンエンド直管 4本

管・基礎数量計算表

(硬質塩化ビニル管 φ 200 mm)

公第 127 工区

路線番号	測 点	路線延長 (m)	人孔による 減長(内径) (m)	副管による 減長 (m)	補強コンクリート による減長 (m)	人孔による 減長(壁厚) (m)	管渠延長 (m)	基礎延長 (m)	掘削幅 (m)	管基礎 施工角 (度)	基 礎 断面積 (m ²)	管本数 (一本管) 4.00 (m/本)	管本数 (半管) (m/本)	可とう性 マンホール継手 (個)	備 考
127	No. 0+4.38 ~No. 1	30.32	0.45			0.08	29.87	29.79	0.95	360	0.362	7		1	1.87
127	No. 1 2	10.60	0.90			0.16	9.70	9.54	0.95	360	0.362	2		2	1.7
		40.92	1.35			0.24	39.57	39.33				9		3	3.57

砂基礎 39.33 × 0.362 14.2 プレーンエンド直管 1本

1号組立式マンホール組合せ表

NO	管底高	人孔高	鉄 蓋		調整高 (30~80)	調整リング				斜壁		直 壁						躯体ブロック					底版	削 孔								
	h	h+300	T-14	T-25		50	100	150	200	450	600	300	600	900	1200	1500	1800	600	900	1200	1500	1800	130	φ 200	φ 150	φ 100						
125工区																																
0	1850	2150		1	60	1							1														1					
1	2760	3060		1	70	1							1	1														1	1	1	1	
2	2780	3080		1	40		1						1	1													1	1	1			
5	2380	2680		1	40								1														1	1	1			
6	既設																												1			
127工区																																
1	1840	2140		1	50	1							1																1	1		
2	既設																												1			
合計				5		3	1						5	2													2		3	5	6	1

※ 調整リングH=50mmは、再生プラスチック製とする。

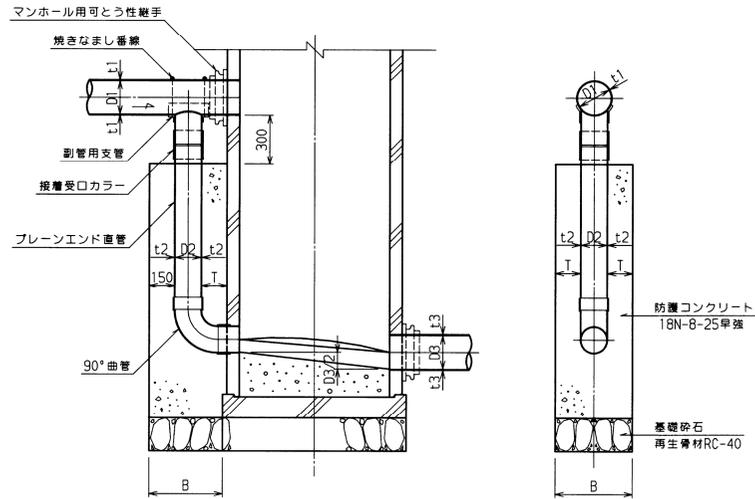
φ 300 小型レジンマンホール組合せ表

NO	管底高 h	人孔高 h+140	鉄 蓋 T-14 T-25		調整高 (30~80)	調整 リング 50	上部壁 200	直 壁 100 150 300 400 500 600 900								高所流入用 中間壁		管取付壁				底版 70	アダプタセット										
																φ 150 φ 200		起点用		中間用			φ 150 φ 200		φ 150 φ 200								
																300	350	370	370	370	390		IN	OUT	IN	OUT							
125工区																																	
3	2660	2800		1	80	1			1																				1	1	1	1	
4	2520	2660		1	40	1	1																						1	1	1	1	
合計				2		1	2		1																			2	2			2	2

副管設置工数量計算書

第125工区

副管詳細図



副管管径 (塩ビ管) (mm)

本管 D1	150	200	250	
副管 D2	100	150	200	

防護コンクリート寸法 (mm)

副管	100 (114)	150 (165)	200 (216)	250 (267)
B	420	470	520	570
T	150以上			

マンホール番号	上流 本管径・管種	副管径・管種	副管落差	下流 本管径・管種
1	200 VU	150 VU	1.05	200 VU
平均落差 H =			1.05 m	1 箇所

1箇所当り

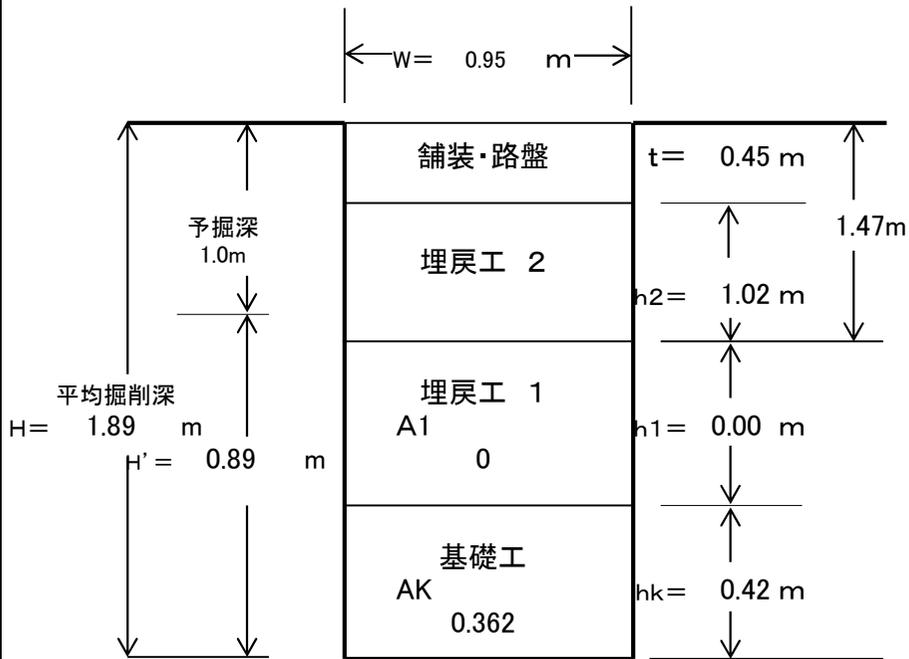
1箇所当り

副管用90°支管		個	1	1
接着受口カラー		個	1	1
プレーンエンド直管	直管長 L = 段差H - (ステップ + 曲管部 + 支管部) = H - (0.101 + 0.154 / 2 + 0.170 + 0.140) = H - 0.488 = 1.05 - 0.488 = 0.562 管本数 = 0.562 / 4.00 = 0.141	本	0.14	0.1
副管用90°曲管		個	1	1
塩ビキャップ		個	-	-
基礎工	V = B × (B - 0.025) = 0.470 × 0.445 = 0.209	m ²	0.21	0.21
型枠	型枠面積 = 段差H × B × 2 + 段差H × B = H × B × 2 + H × B = 1.05 × 0.470 × 2 + 1.05 × 0.470 = 1.481	m ²	1.48	1.48
防護コンクリート	V = 段差H × B × B - π/4 × 0.165 ² × 段差H = H × B × B - 0.0214 × H = 1.05 × 0.470 × 0.470 - 0.0214 × 1.05 = 0.209	m ³	0.21	0.21

建込簡易土留賃料日数計算書

1/3

・路線番号	125	・管種・管径	塩ビ管 φ200
・路線延長	24.0 m	・巻立・基礎	360° 砂基礎
・最大掘削深	1.96 m	・支 承	自由
・平均掘削深	1.89 m	・掘削機種	0.28m3BH
・掘削幅	0.95 m	・舗装・路盤厚	0.45 m
・基礎断面積AK	0.362 m ²	・基礎高hk	0.42 m



管外断面積 A = 0.037

平成22年4月1日 改正

・バックホー1日当り作業量(m3/日)

掘 削 (Q1)			投 入 (Q2)		
土質	規格	(m3/日)	土質	規格	(m3/日)
礫質土	0.28m3BH	67.00	礫質土	0.28m3BH	116.00
砂質土			砂質土		
粘性土			粘性土		

・管布設作業

人力布設 (Jf)

普通作業員の配置人員は

2.0 人/日

管種・管径	塩ビ管	φ200
普通作業員	人/m	0.044

・土留建込み日数、土留引抜き日数

掘削深さ H	土留建込み日数(α)		土留引抜き日数(β)	
	運転日当り 運転時間	運転時間	トラッククレーン 規格	運転日数
(m)	(hr/日)	(hr/m)		(日/m)
2.0m以下	0.28m3BH 6.0	0.080	4.8~4.9t 吊	0.010

* α = 0.08 ÷ 6.0 = 0.013 日/m

建込み簡易土留賃料日数計算書

2/3

平成22年4月1日 改正

・1回当り
締切り延長 (L')= 30 m (1ロット)

・転用による
締切り回数 (N)= 24.0 ÷ 30 m = 0.8 回

掘削・土留建込み

・掘削土量 $V = \frac{(W)}{0.95 \text{ m}} \times \frac{(H')}{0.89 \text{ m}} \times \frac{(L')}{30} = 25.4 \text{ m}^3$

・掘削日数 $DV = \frac{(V)}{25.4 \text{ m}^3} \div \frac{(Q1)}{67 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.38 \text{ 日}$

・土留
建込み日数 $D\alpha = \frac{(\alpha)}{0.013 \text{ 日/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0.39 \text{ 日}$

・掘削
建込み日数 $I = \frac{(DV)}{0.38 \text{ 日}} + \frac{(D\alpha)}{0.4 \text{ 日}} = 0.8 \text{ 日}$

0.8 日

基礎工

・基礎土量 $Vk = \frac{(Ak)}{0.362 \text{ m}^3/\text{m}} \times \frac{(L')}{30} = 10.9 \text{ m}^3$

・基礎
投入日数 $Dvk = \frac{(Vk)}{10.9 \text{ m}^3} \div \frac{(Q2)}{116 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.1 \text{ 日}$

0.1 日

・タンパ
締固め日数 $Dta = \frac{(Vk)}{10.9 \text{ m}^3} \div \frac{(\text{タンパ作業量})}{33.0 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.3 \text{ 日}$

0.3 日

管布設工

・管布設日数 $Djf = \frac{(jf)}{0.044 \text{ 人/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} \div \frac{(\text{配置人員})}{2} = 0.7 \text{ 日}$

0.7 日

埋戻工1・土留引抜

・埋戻工1・土量 $V1 = \frac{(A1)}{0 \text{ m}^3/\text{m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0 \text{ m}^3$

・埋戻工1
投入日数 $DV1 = \frac{(V1)}{0 \text{ m}^3} \div \frac{(Q2)}{116 \text{ m}^3/\text{日}} = 0 \text{ 日}$

0 日

・タンパ
締固日数 $Dta = \frac{(V1)}{0 \text{ m}^3} \div \frac{(\text{タンパ作業量})}{33.0 \text{ m}^3/\text{日}} = 0 \text{ 日}$

0 日

・土留
引抜き日数 $D\beta = \frac{(\beta)}{0.010 \text{ 日/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0.3 \text{ 日}$

0.3 日

・埋戻工1
引抜き日数 藤 = $\frac{(DV1) \text{ or } (Dta)}{0 \text{ 日}} + \frac{(D\beta)}{0.3 \text{ 日}} = 0.3 \text{ 日}$

0.3 日

補正率

1現場当り修理費及び損耗費は、1現場におけるパネル等の締切り回数が2以上になるときは、次の補正率を乗じて補正することができる。

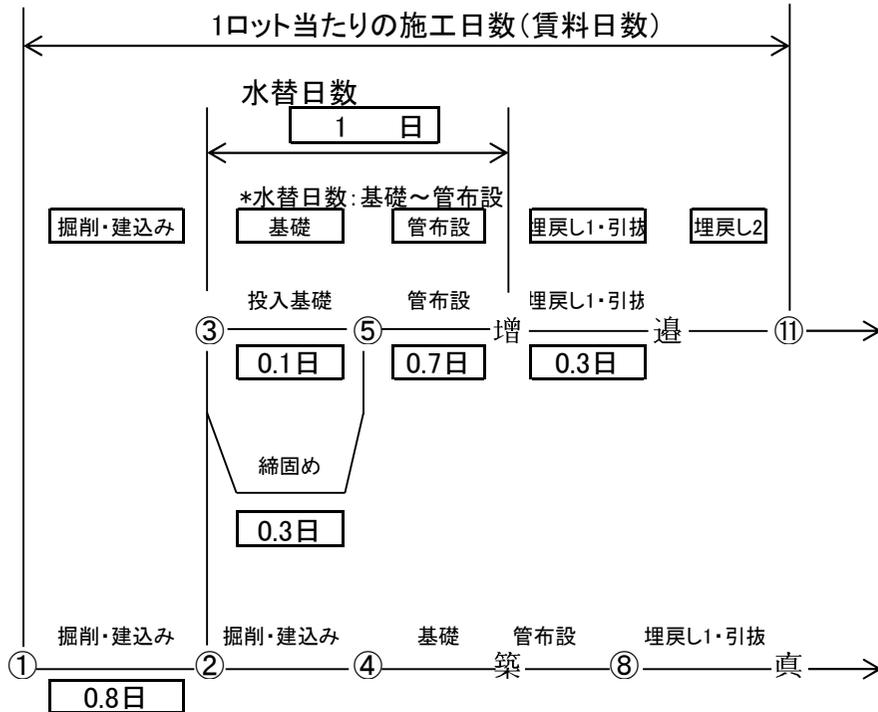
補正率 $\frac{(N)}{\quad} = \underline{1}$

注) 主たる土留賃料日数計算書が、他にある場合は、補正率=N/2とする。

建込簡易土留賃料日数計算書

3/3

平成22年4月1日 改正



1ロットの施工日数 (X) (1回当たりの締切り延長が15m未満の場合は2で割らない)

$$(X) = (掘削・建込 + 基礎 + 管布設 + 埋戻し1・引抜) \div 2$$

$$= (0.8 + 0.3 + 0.7 + 0.3) \div 2$$

$$= 1.1 \text{ 日}$$

1.1 日

供用日数 (D)

$$\cdot(D) = (X) \cdot (N) \cdot (\text{割増係数})$$

$$= 1.1 \text{ 日} \times 0.8 \text{ 回} \times 1.7 = 2 \text{ 日}$$

2 日

土留使用数量 (A)

$$\cdot(A) = (H) \cdot (L') \cdot (\text{両面})$$

$$= 1.89 \text{ m} \times 30 \text{ m} \times 2 = 113.4 \text{ m}^2$$

113.4 m²

土留賃料 (C)

$$\cdot(C) = (T_{in}) \cdot (D) \cdot (S_{yu})$$

$$= (110 \text{ 円/m}^2 \cdot \text{日} \times 2 \text{ 日} + 0 \text{ 円/m}^2 \cdot (\text{修正率}) \cdot (A)) \times 113.4 \text{ m}^2 = \text{¥}24,948 \text{ 円}$$

¥24,948 円

土留重量 (G)

3.6 t

・建て込み簡易土留賃料、修理費、重量表(掘削幅:3m未満)

掘削深さH(m)	賃料(T _{in}) 円/m ² ・日	修理費(S _{yu}) 円/m ²	重量 t
2.0m以下	110		3.6

・賃料 = (積算資料+建設物価)/2

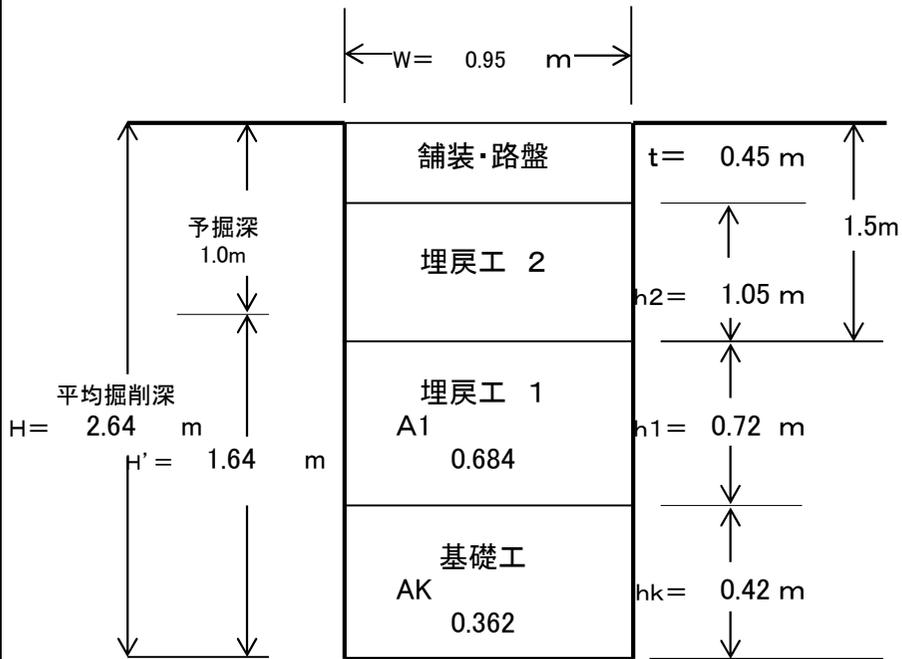
$$= (110 + 110) / 2 = 110 \text{ 円}$$

(5 月号)

建込簡易土留賃料日数計算書

1/3

・路線番号	125	・管種・管径	塩ビ管 φ200
・路線延長	93.0 m	・巻立・基礎	360° 砂基礎
・最大掘削深	2.89 m	・支 承	自由
・平均掘削深	2.64 m	・掘削機種	0.28m3BH
・掘削幅	0.95 m	・舗装・路盤厚	0.45 m
・基礎断面積AK	0.362 m ²	・基礎高hk	0.42 m



管外断面積 A = 0.037

平成22年4月1日 改正

・バックホー1日当り作業量(m3/日)

掘 削 (Q1)			投 入 (Q2)		
土質	規格	(m3/日)	土質	規格	(m3/日)
礫質土	0.28m3BH	67.00	礫質土	0.28m3BH	116.00
砂質土			砂質土		
粘性土			粘性土		

・管布設作業

人力布設 (Jf)

普通作業員の配置人員は

2.0 人/日

管種・管径	塩ビ管	φ200
普通作業員	人/m	0.044

・土留建込み日数、土留引抜き日数

掘削深さ H	土留建込み日数(α)		土留引抜き日数(β)	
	運転日当り 運転時間	運転時間	トラッククレーン 規格	運転日数
(m)	(hr/日)	(hr/m)		(日/m)
3.0m以下	0.28m3BH 6.0	0.120	4.8~4.9t 吊	0.013

* α = 0.12 ÷ 6.0 = 0.02 日/m

建込み簡易土留賃料日数計算書

2/3

・1回当り
締切り延長 (L')= 30 m (1ロット)

・転用による
締切り回数 (N)= 93.0 ÷ 30 m = 3.1 回

掘削・土留建込み

・掘削土量 $V = \frac{(W)}{0.95 \text{ m}} \times \frac{(H')}{1.64 \text{ m}} \times \frac{(L')}{30} = 46.7 \text{ m}^3$

・掘削日数 $DV = \frac{46.7 \text{ m}^3}{67 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.7 \text{ 日}$

・土留
建込み日数 $D\alpha = \frac{(\alpha)}{0.02 \text{ 日/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0.6 \text{ 日}$

・掘削
建込み日数 $I = \frac{(DV)}{0.7 \text{ 日}} + \frac{(D\alpha)}{0.6 \text{ 日}} = 1.3 \text{ 日}$

1.3 日

基礎工

・基礎土量 $V_k = \frac{(A_k)}{0.362 \text{ m}^3/\text{m}} \times \frac{(L')}{30} = 10.9 \text{ m}^3$

・基礎
投入日数 $Dvk = \frac{10.9 \text{ m}^3}{116 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.1 \text{ 日}$

0.1 日

・タンパ
締固め日数 $Dta = \frac{(V_k)}{10.9 \text{ m}^3} \div \frac{(\text{タンパ作業量})}{33.0 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.3 \text{ 日}$

0.3 日

管布設工

・管布設日数 $Djf = \frac{(jf)}{0.044 \text{ 人/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} \div \frac{(\text{配置人員})}{2} = 0.7 \text{ 日}$

0.7 日

平成22年4月1日 改正

埋戻工・土留引抜

・埋戻工1・土量 $V1 = \frac{(A1)}{0.684 \text{ m}^3/\text{m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 20.5 \text{ m}^3$

・埋戻工1
投入日数 $DV1 = \frac{20.5 \text{ m}^3}{116 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.2 \text{ 日}$

0.2 日

・タンパ
締固め日数 $Dta = \frac{(V1)}{20.5 \text{ m}^3} \div \frac{(\text{タンパ作業量})}{33.0 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.6 \text{ 日}$

0.6 日

・土留
引抜き日数 $D\beta = \frac{(\beta)}{0.013 \text{ 日/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0.4 \text{ 日}$

0.4 日

・埋戻工1
引抜き日数 $\text{藤} = \frac{(DV1) \text{ or } (Dta)}{0.6 \text{ 日}} + \frac{(D\beta)}{0.4 \text{ 日}} = 1 \text{ 日}$

1 日

補正率

1現場当り修理費及び損耗費は、1現場におけるパネル等の締切り回数が2以上になるときは、次の補正率を乗じて補正することができる。

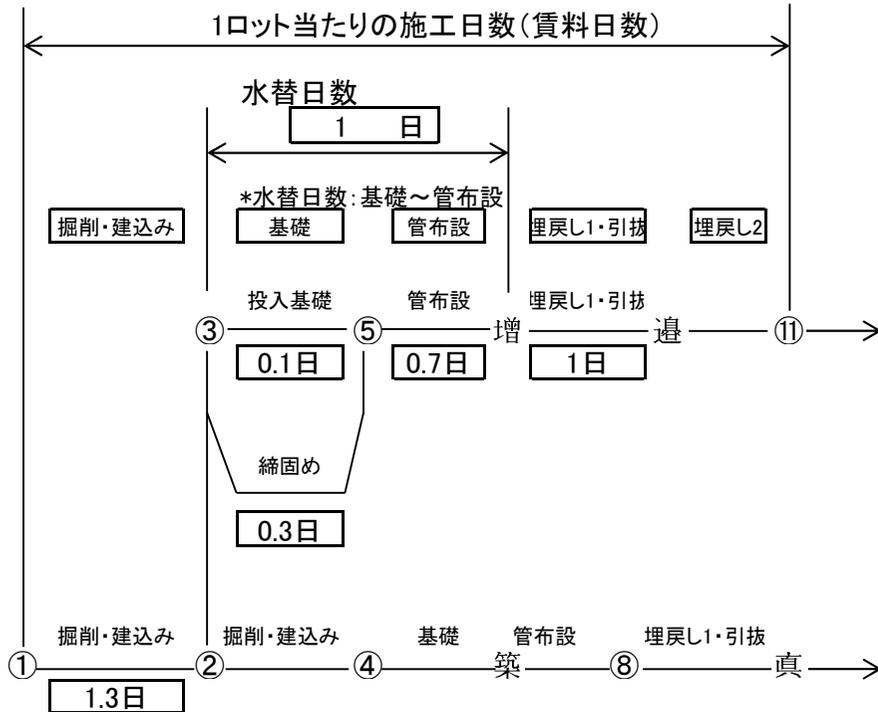
補正率 $\frac{(N)}{\quad} = \underline{1}$

注) 主たる土留賃料日数計算書が、他にある場合は、補正率=N/2とする。

建込簡易土留賃料日数計算書

3/3

平成22年4月1日 改正



1ロットの施工日数 (X) (1回当たりの締切り延長が15m未満の場合は2で割らない)

$$(X) = (\text{掘削・建込} + \text{基礎} + \text{管布設} + \text{埋戻し1・引抜}) \div 2$$

$$= (1.3 + 0.3 + 0.7 + 1) \div 2$$

$$= 1.7 \text{ 日}$$

1.7 日

供用日数 (D)

$$\cdot (D) = (X) \times (N) \times (\text{割増係数})$$

$$= 1.7 \text{ 日} \times 3.1 \text{ 回} \times 1.7 = 9 \text{ 日}$$

9 日

土留使用数量 (A)

$$\cdot (A) = (H) \times (L') \times (\text{両面})$$

$$= 2.64 \text{ m} \times 30 \text{ m} \times 2 = 158.4 \text{ m}^2$$

158.4 m²

土留賃料 (C)

$$\cdot (C) = (T_{in}) \times (D) \times (S_{yu}) \times (\text{補正率}) \times (A)$$

$$= (110 \text{ 円/m}^2 \cdot \text{日} \times 9 \text{ 日} + 260 \text{ 円/m}^2) \times 1 \times 158.4 \text{ m}^2 = \text{¥}198,000 \text{ 円}$$

¥198,000 円

土留重量 (G)

5.5 t

・建て込み簡易土留賃料、修理費、重量表(掘削幅:3m未満)

掘削深さH(m)	賃料(T _{in}) 円/m ² ・日	修理費(S _{yu}) 円/m ²	重量 t
3.0m以下	110	260	5.5

・賃料 = (積算資料+建設物価)/2

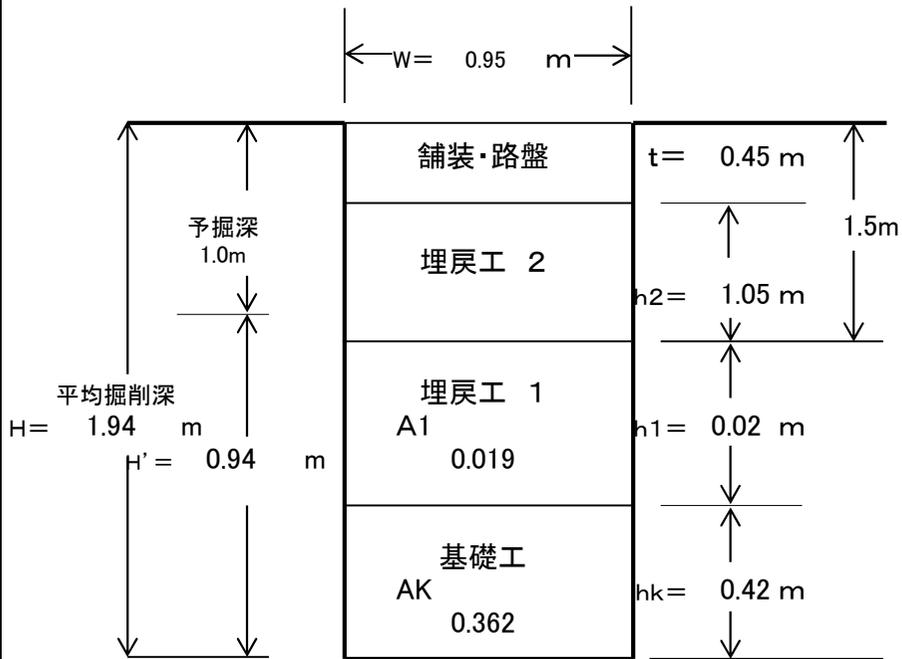
$$= (110 + 110) / 2 = 110 \text{ 円}$$

(5 月号)

建込簡易土留賃料日数計算書

1/3

・路線番号	127	・管種・管径	塩ビ管 φ200
・路線延長	40.9 m	・巻立・基礎	360° 砂基礎
・最大掘削深	1.95 m	・支 承	自由
・平均掘削深	1.94 m	・掘削機種	0.28m3BH
・掘削幅	0.95 m	・舗装・路盤厚	0.45 m
・基礎断面積AK	0.362 m ²	・基礎高hk	0.42 m



管外断面積 A = 0.037

平成22年4月1日 改正

・バックホー1日当り作業量(m3/日)

掘 削 (Q1)			投 入 (Q2)		
土質	規格	(m3/日)	土質	規格	(m3/日)
礫質土	0.28m3BH	67.00	礫質土	0.28m3BH	116.00
砂質土			砂質土		
粘性土			粘性土		

・管布設作業

人力布設 (Jf)

普通作業員の配置人員は

2.0 人/日

管種・管径	塩ビ管	φ200
普通作業員	人/m	0.044

・土留建込み日数、土留引抜き日数

掘削深さ H (m)	土留建込み日数(α)		土留引抜き日数(β)	
	運転日当り 運転時間 (hr/日)	運転時間 (hr/m)	トラッククレーン 規格	運転日数 (日/m)
2.0m以下	0.28m3BH 6.0	0.080	4.8~4.9t 吊	0.010

* α = 0.08 ÷ 6.0 = 0.013 日/m

建込み簡易土留賃料日数計算書

2/3

・1回当り
締切り延長 (L')= 30 m (1ロット)

・転用による
締切り回数 (N)= 40.9 ÷ 30 m = 1.4 回

掘削・土留建込み

・掘削土量 $V = \frac{(W)}{0.95 \text{ m}} \times \frac{(H')}{0.94 \text{ m}} \times \frac{(L')}{30} = 26.8 \text{ m}^3$

・掘削日数 $DV = \frac{26.8 \text{ m}^3}{67 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.4 \text{ 日}$

・土留
建込み日数 $D\alpha = \frac{(\alpha)}{0.013 \text{ 日/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0.39 \text{ 日}$

・掘削
建込み日数 $I = \frac{(DV)}{0.4 \text{ 日}} + \frac{(D\alpha)}{0.4 \text{ 日}} = 0.8 \text{ 日}$

0.8 日

基礎工

・基礎土量 $V_k = \frac{(A_k)}{0.362 \text{ m}^3/\text{m}} \times \frac{(L')}{30} = 10.9 \text{ m}^3$

・基礎
投入日数 $Dv_k = \frac{10.9 \text{ m}^3}{116 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.1 \text{ 日}$

0.1 日

・タンパ
締固め日数 $Dta = \frac{(V_k)}{10.9 \text{ m}^3} \div \frac{(\text{タンパ作業量})}{33.0 \text{ m}^3/\text{日}} = 0.3 \text{ 日}$

0.3 日

管布設工

・管布設日数 $Dj_f = \frac{(j_f)}{0.044 \text{ 人/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} \div \frac{(\text{配置人員})}{2} = 0.7 \text{ 日}$

0.7 日

平成22年4月1日 改正

埋戻工・土留引抜

・埋戻工1・土量 $V1 = \frac{(A1)}{0.019 \text{ m}^3/\text{m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0.6 \text{ m}^3$

・埋戻工1
投入日数 $DV1 = \frac{(V1)}{0.6 \text{ m}^3} \div \frac{(Q2)}{116 \text{ m}^3/\text{日}} = 0 \text{ 日}$

0 日

・タンパ
締固め日数 $Dta = \frac{(V1)}{0.6 \text{ m}^3} \div \frac{(\text{タンパ作業量})}{33.0 \text{ m}^3/\text{日}} = 0 \text{ 日}$

0 日

・土留
引抜き日数 $D\beta = \frac{(\beta)}{0.010 \text{ 日/m}} \times \frac{(L')}{30 \text{ m}} = 0.3 \text{ 日}$

0.3 日

・埋戻工1
引抜き日数 藤 = $\frac{(DV1) \text{ or } (Dta)}{0 \text{ 日}} + \frac{(D\beta)}{0.3 \text{ 日}} = 0.3 \text{ 日}$

0.3 日

補正率

1現場当り修理費及び損耗費は、1現場におけるパネル等の締切り回数が2以上になるときは、次の補正率を乗じて補正することができる。

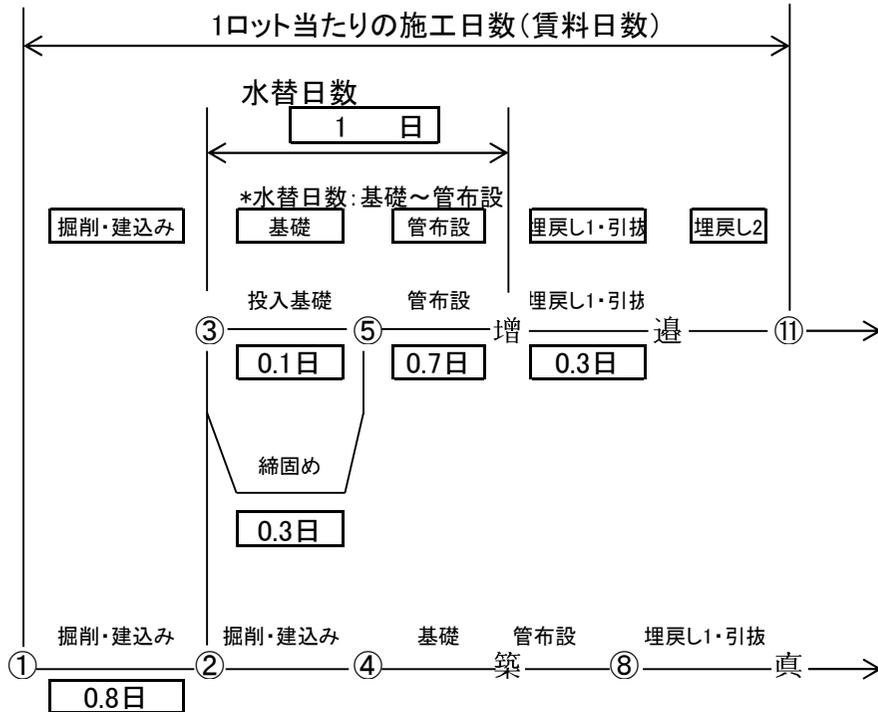
補正率 $\frac{(N)}{\quad} = \underline{1}$

注) 主たる土留賃料日数計算書が、他にある場合は、補正率=N/2とする。

建込簡易土留賃料日数計算書

3/3

平成22年4月1日 改正



1ロットの施工日数 (X) (1回当たりの締切り延長が15m未満の場合は2で割らない)

$$(X) = (掘削・建込 + 基礎 + 管布設 + 埋戻し1・引抜) \div 2$$

$$= (0.8 + 0.3 + 0.7 + 0.3) \div 2$$

$$= 1.1 \text{ 日}$$

1.1 日

供用日数 (D)

$$\cdot(D) = (X) \times (N) \times (\text{割増係数})$$

$$= 1.1 \text{ 日} \times 1.4 \text{ 回} \times 1.7 = 3 \text{ 日}$$

3 日

土留使用数量 (A)

$$\cdot(A) = (H) \times (L') \times (\text{両面})$$

$$= 1.94 \text{ m} \times 30 \text{ m} \times 2 = 116.4 \text{ m}^2$$

116.4 m²

土留賃料 (C)

$$\cdot(C) = (T_{in}) \times (D) \times (S_{yu})$$

$$= (110 \text{ 円/m}^2 \cdot \text{日} \times 3 \text{ 日} + 0 \text{ 円/m}^2) \times 1 \times 116.4 \text{ m}^2 = \text{¥}38,412 \text{ 円}$$

¥38,412 円

土留重量 (G)

3.6 t

・建て込み簡易土留賃料、修理費、重量表(掘削幅:3m未満)

掘削深さH(m)	賃料(T _{in}) 円/m ² ・日	修理費(S _{yu}) 円/m ²	重量 t
2.0m以下	110		3.6

・賃料 = (積算資料+建設物価)/2

$$= (110 + 110) / 2 = 110 \text{ 円}$$

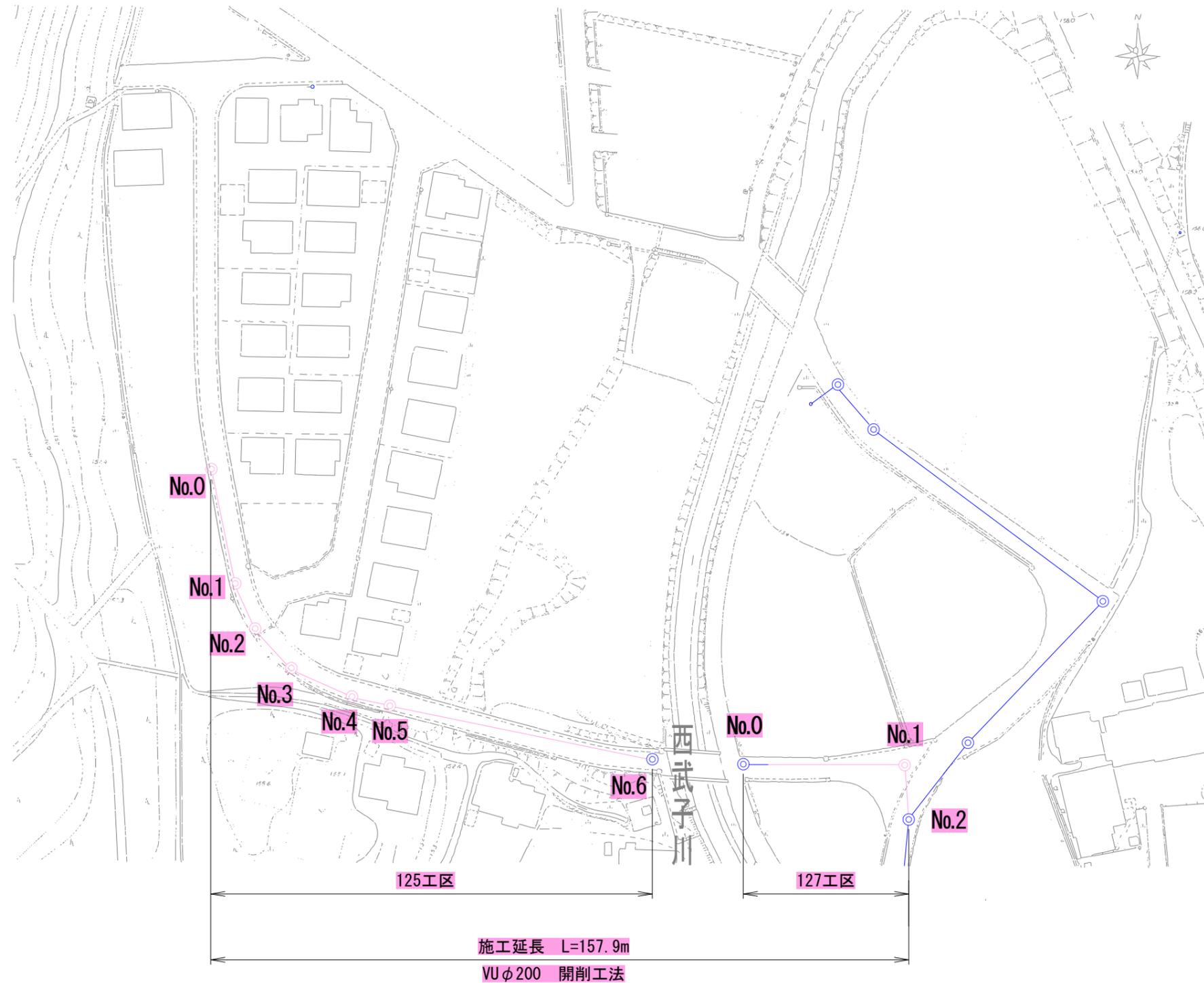
(5 月号)

位置図

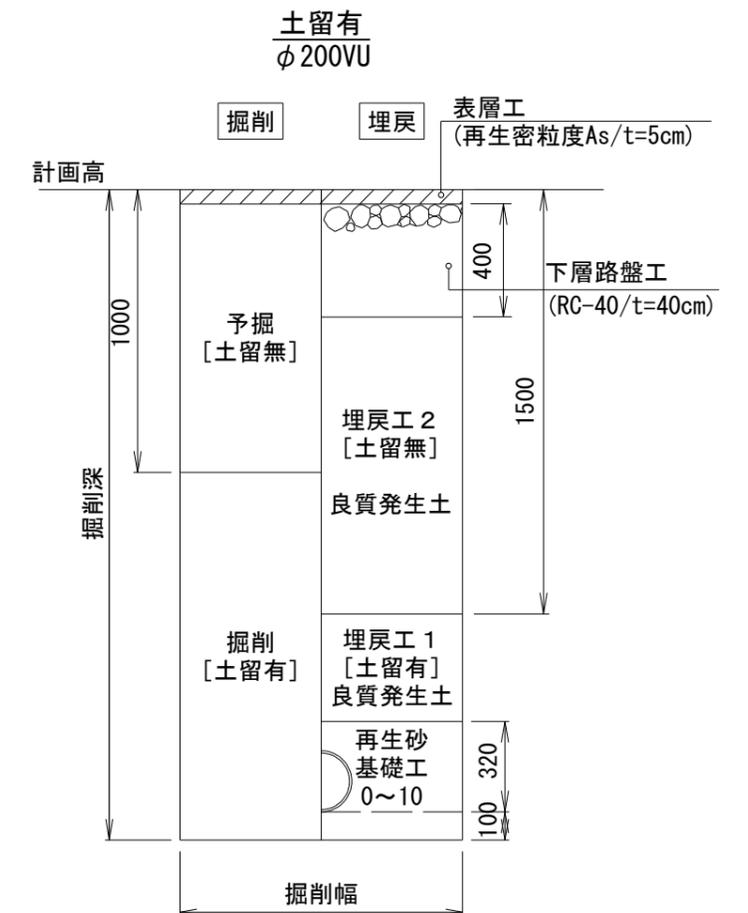


公共下水道污水管布設工事第125工区

平面図



土工定規図

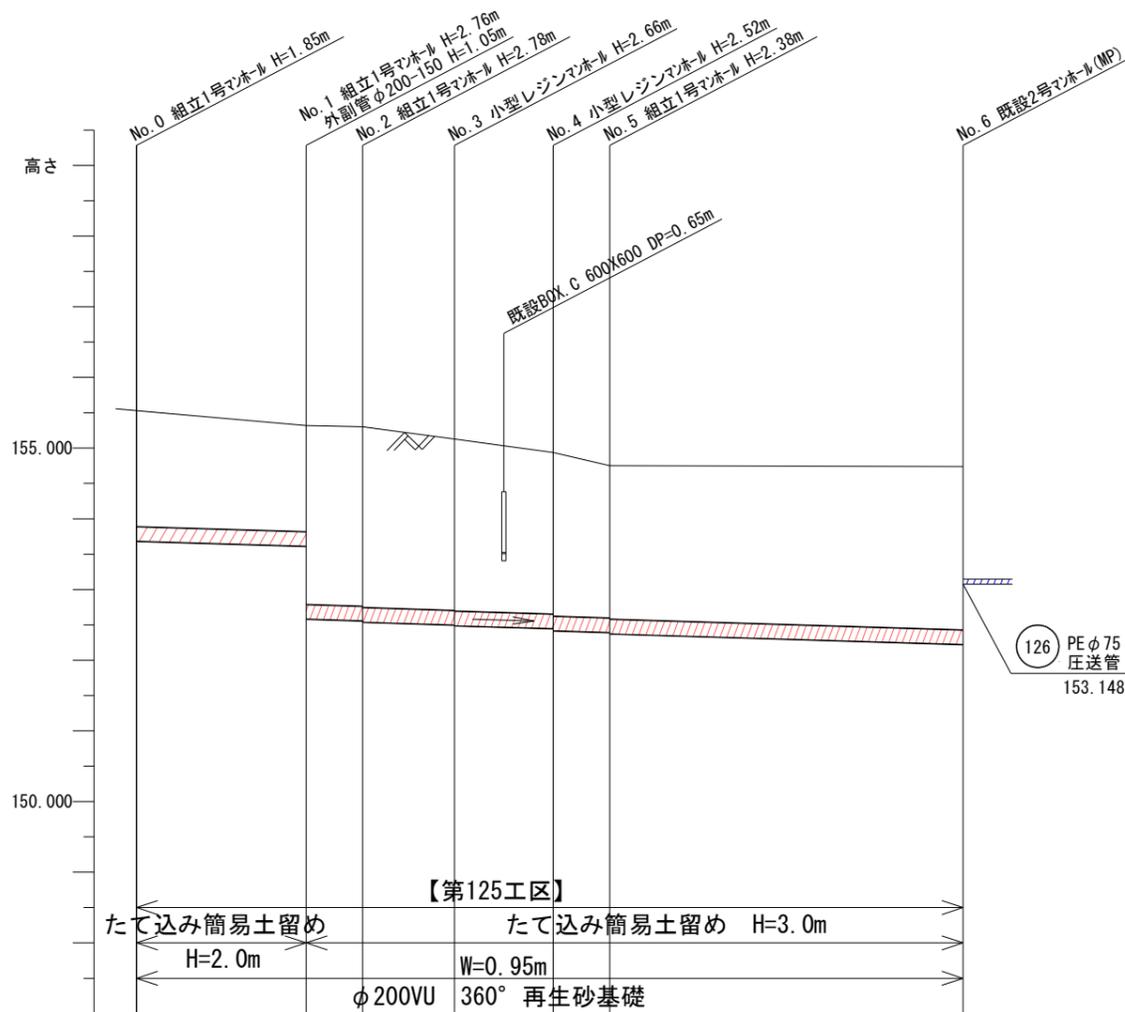


※路盤工は、一層の仕上がり厚を15cm以下とすること。
 ※埋戻しは、一層の仕上がり厚を20cm以下とすること。

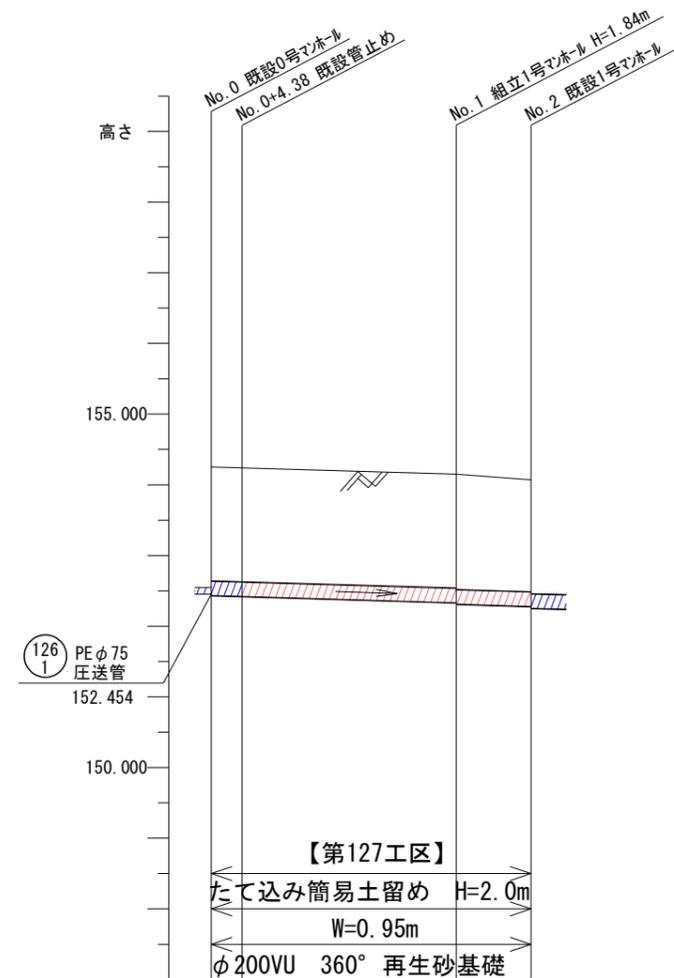
年度	令和 7 年度	
工事名	公共下水道污水管布設工事第125工区	
路線名	125	127
工事箇所	鹿沼市 下武子町	
平面図・土工定規図	縮尺	
図面番号	葉中之	

縦断図

SV=1/100
SH=1/1000



測点	単距離	追加距離	地盤高	管底高	管底深	掘削深	勾配
No. 0	0.00	0.00	155.53	153.684	1.85	1.96	3.00%
No. 1	24.00	24.00	155.32	153.612	1.71	1.82	
			152.583	2.74	2.85	2.85	
No. 2	8.00	32.00	155.30	152.559	2.74	2.85	
			152.639	2.76	2.87	2.87	
No. 3	13.00	45.00	155.13	152.500	2.63	2.74	
			152.480	2.65	2.76	2.76	
No. 4	14.00	59.00	154.94	152.438	2.50	2.61	
			152.418	2.52	2.63	2.63	
No. 5	8.00	67.00	154.75	152.394	2.36	2.47	
			152.374	2.38	2.49	2.49	
No. 6	50.00	117.00	154.74	152.224	2.52	2.63	

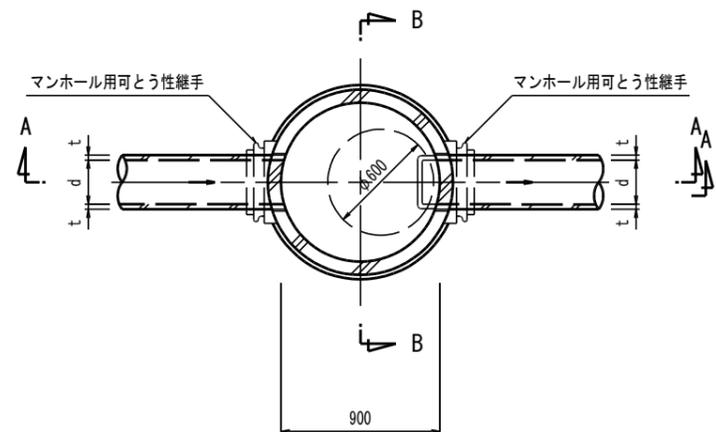


測点	単距離	追加距離	地盤高	管底高	管底深	掘削深	勾配
No. 0			154.25	152.434			3.00%
No. 0+4.38	0.00	0.00	154.25	152.421	1.83	1.94	
No. 1	30.32	30.32	154.15	152.330	1.82	1.93	
			152.310	1.84	1.95	1.95	
No. 2	10.60	40.92	154.07	152.278	1.79	1.90	
			152.253				

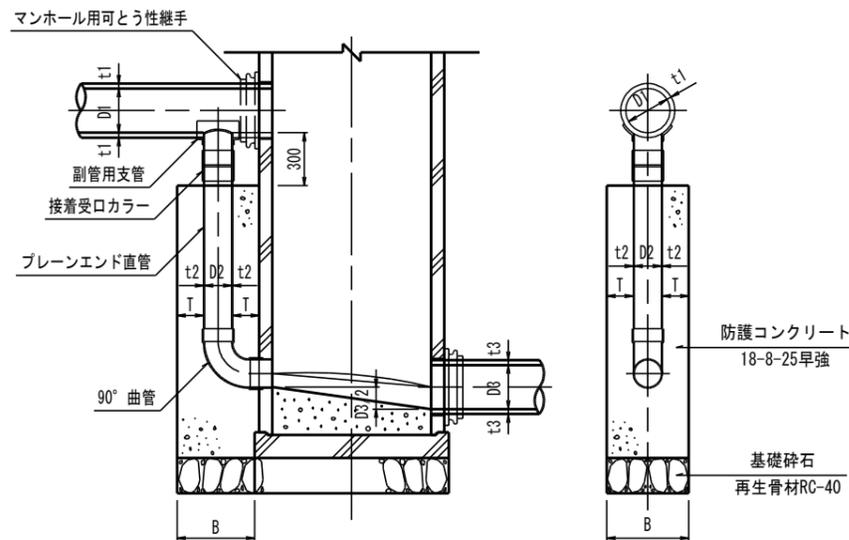
年度	令和 7 年度
工事名	公共下水道汚水管布設工事第125工区
路線名	(125) (127)
工事箇所	鹿沼市 下武子町
縦断図	縮尺
図面番号	葉中之

1号組立式マンホール標準図 縮尺 1:20

平面図



副管詳細図



副管管径 (塩ビ管) (mm)

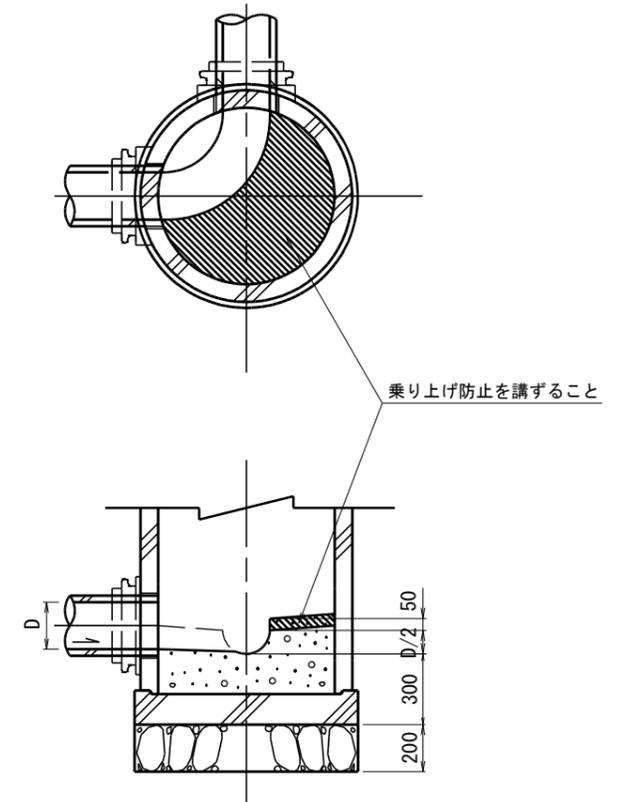
本管 D1	150	200	250	
副管 D2	100	150	200	

防護コンクリート寸法 (mm)

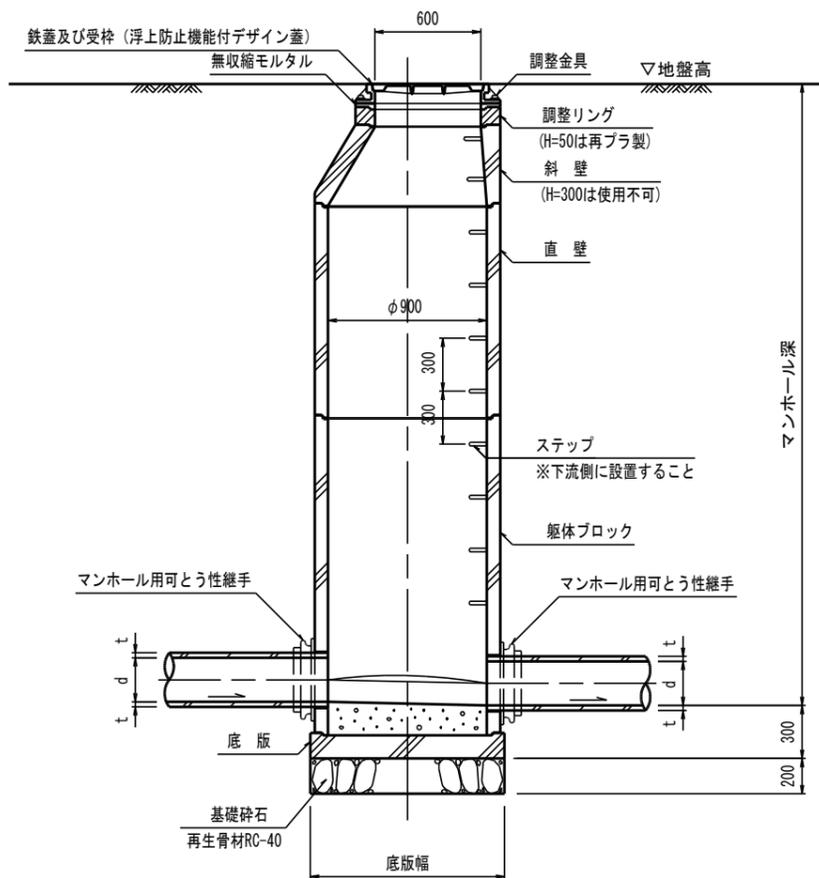
副管	100(114)	150(165)	200(216)	250(267)
B	420	470	520	570
T	150以上			

インバート詳細図 縮尺 1:15

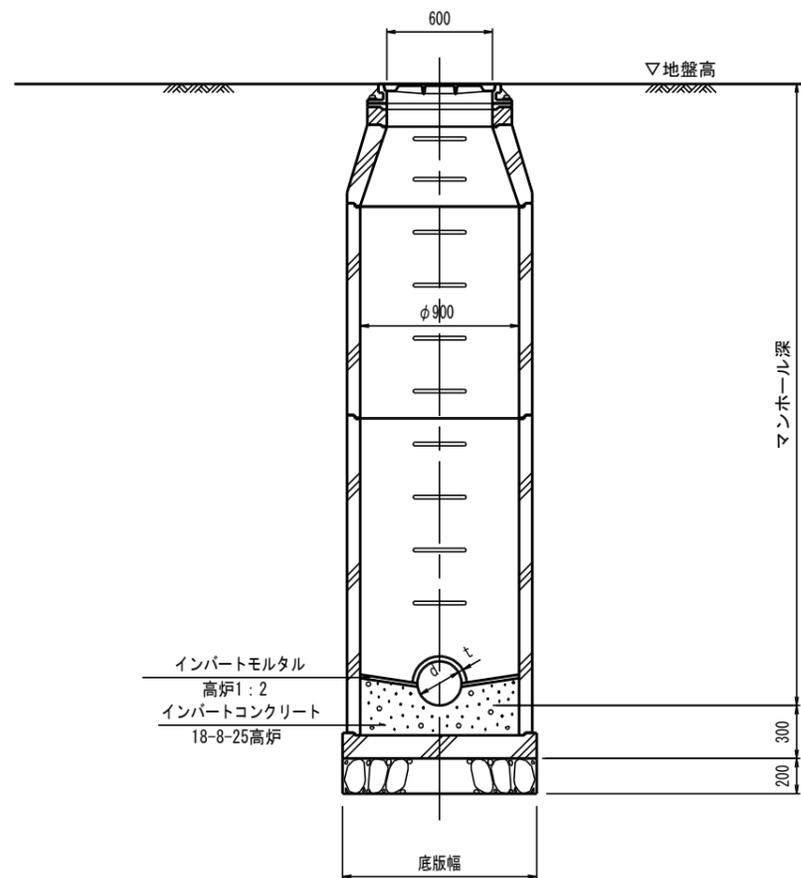
屈曲・合流部



A-A断面図



B-B断面図

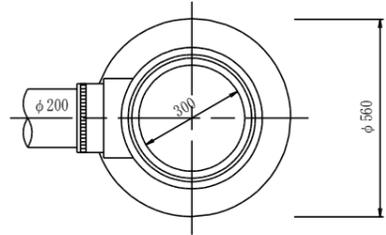


年度	令和 7 年度	
工事名	公共下水道汚水管布設工事第125工区	
路線名	⑫⑤ ⑫⑦	
工事箇所	鹿沼市 下武子町	
1号組立式マンホール標準図 縮尺	A1:図示	A3:図示/2
図面番号	葉中之	

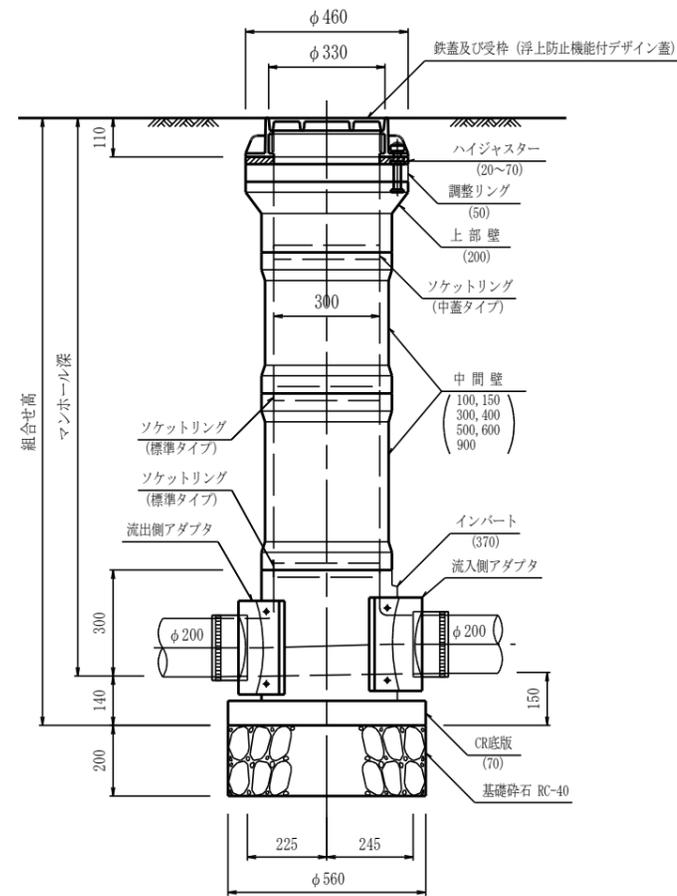
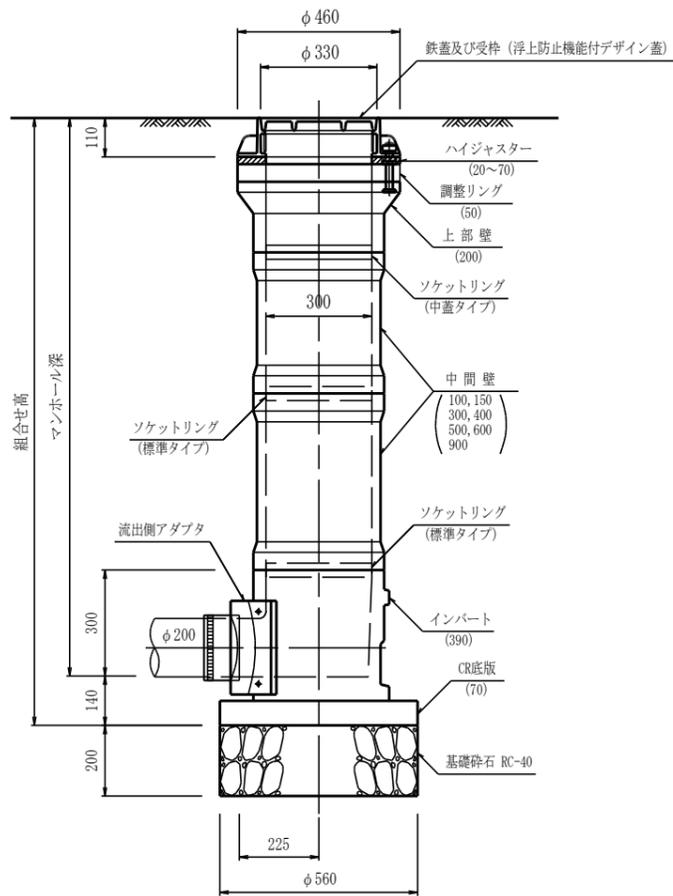
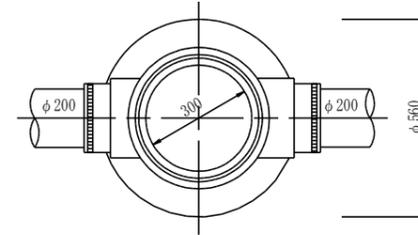
小型レジンマンホール標準図 縮尺 1:10

(内径30cm)

起 点



中 間 点



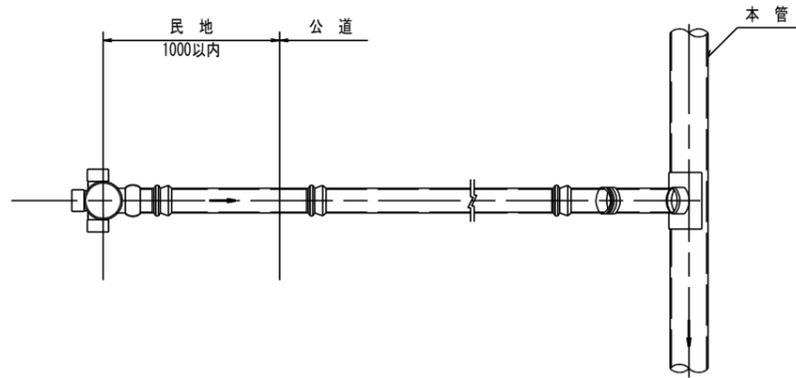
※起点用：将来、流入の可能性および取付管の接続がない場合に限り使用可

年度	令和 7 年度
工事名	公共下水道汚水管布設工事第125工区
路線名	①25 ①27
工事箇所	鹿沼市 下武子町
小型レジンマンホール標準図	縮尺
図面番号	葉中之

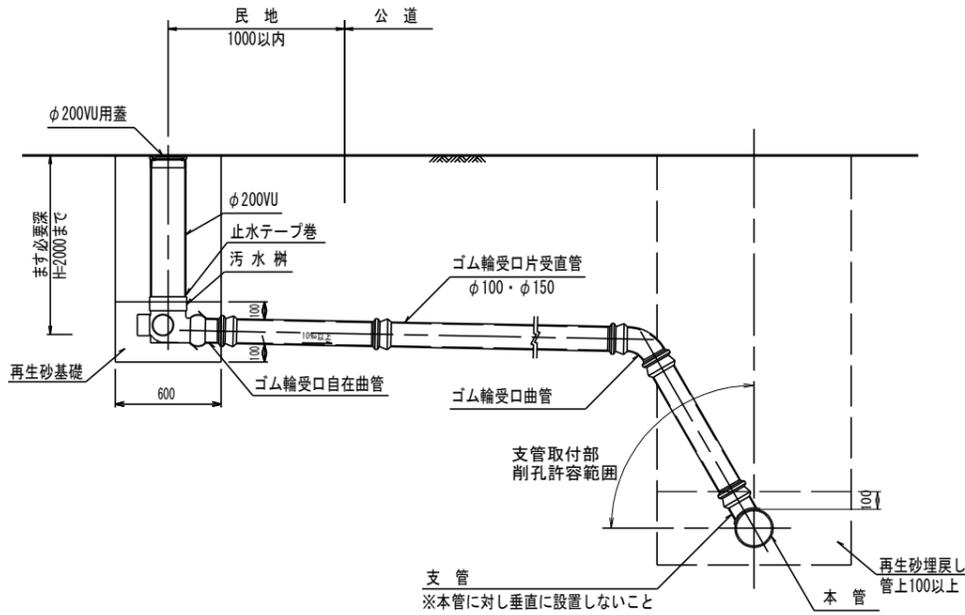
汚水樹及び取付管構造図 縮尺 1:20

横型

平面図

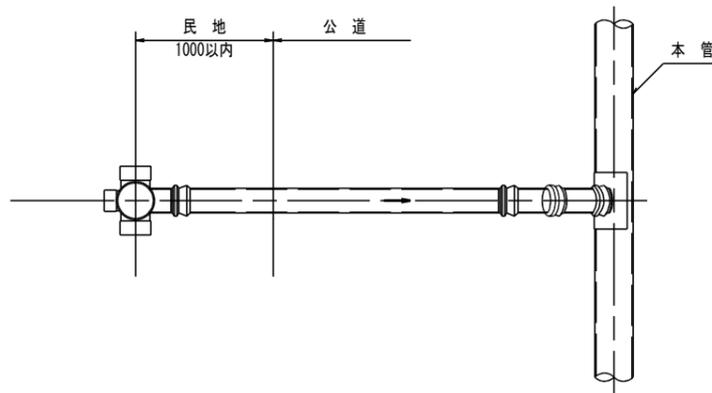


断面図

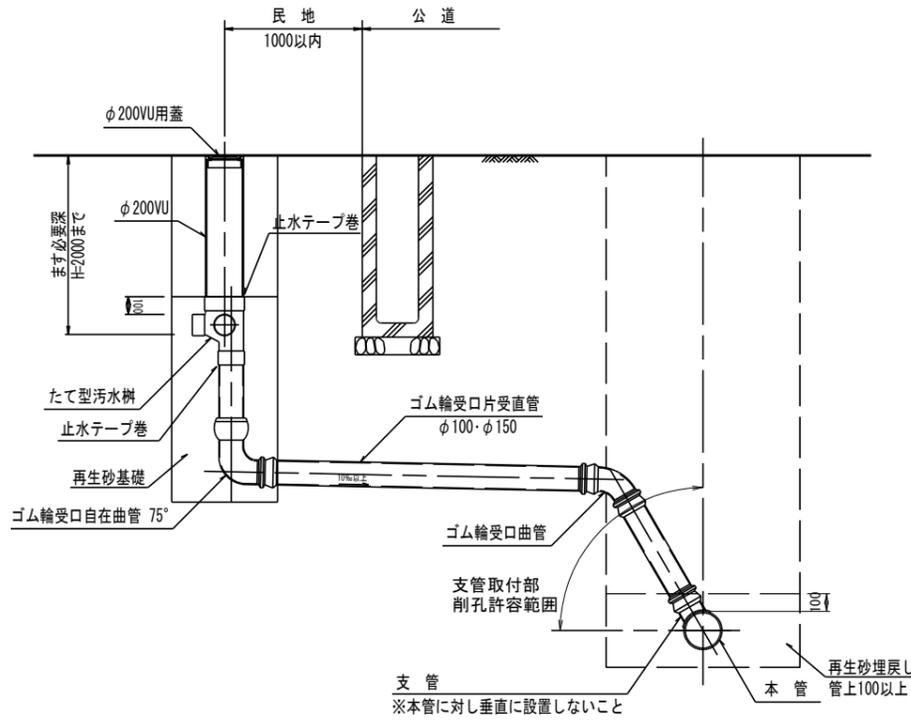


縦型

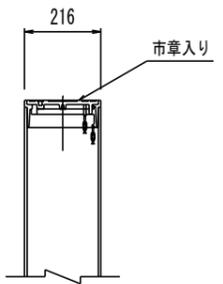
平面図



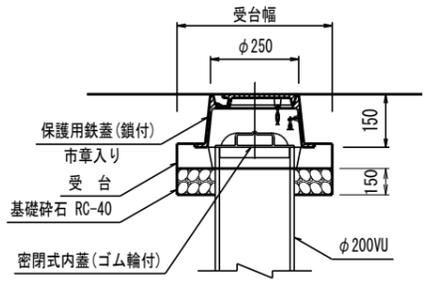
断面図



塩ビ製蓋 縮尺 1:10

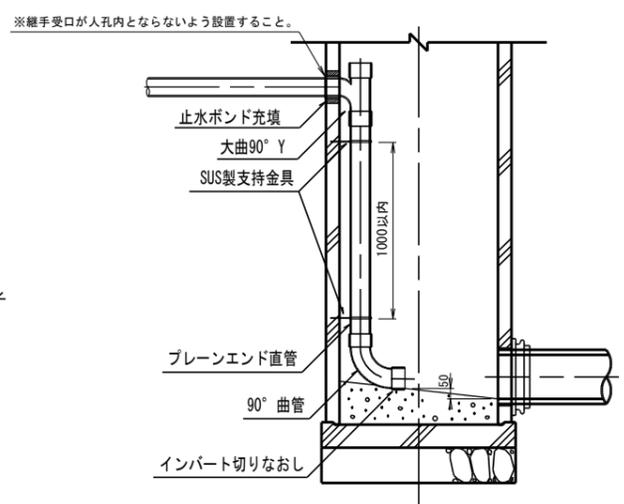


保護用鉄蓋 縮尺 1:10



内副管詳細 縮尺 1:20

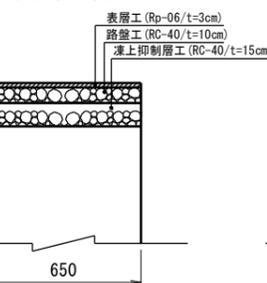
(樹取付管の場合のみ)



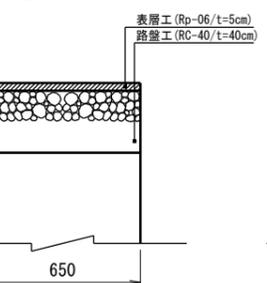
舗装復旧図 S=1:20

現況が砂利道の場合は指定区分の路盤のみを施工すること。

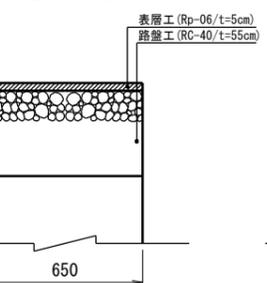
A 復旧(歩道)



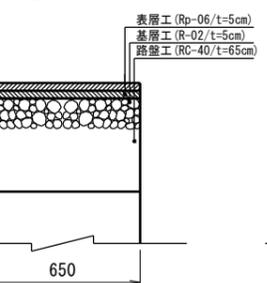
B 復旧(車道)



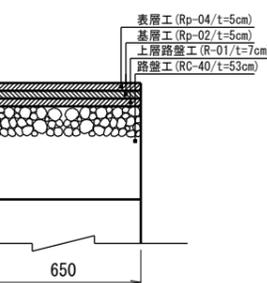
C 復旧(車道)



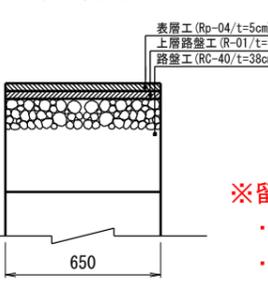
D 復旧(車道)



E 復旧(車道)



F 復旧(車道)



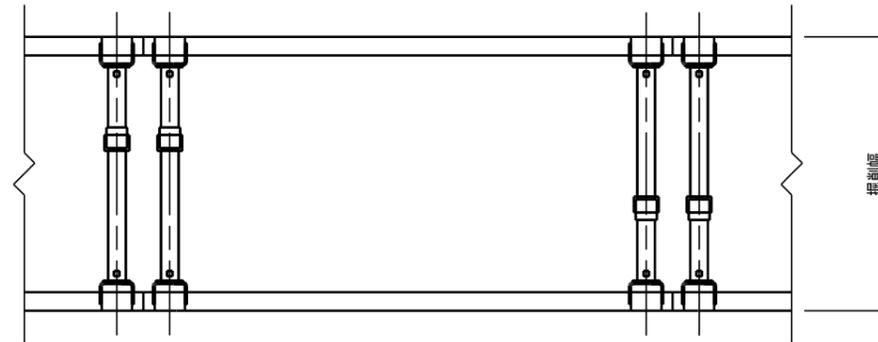
※留意事項※

- ・ ます設置位置は官民界から1m以内とすること。
- ・ 接着継手を用いる場合は止水テープ巻きとすること。
- ・ 掘削深が1.5mを超える場合は土留を設置すること。

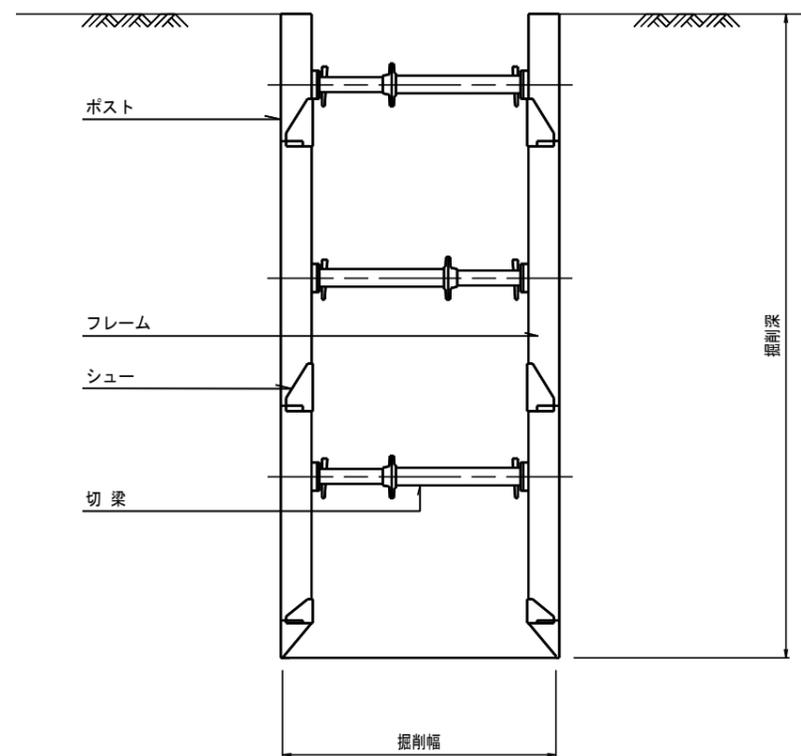
年度	令和 7 年度
工事名	公共下水道汚水管布設工事第125工区
路線名	125 127
工事箇所	鹿沼市 下武子町
汚水樹及び取付管構造図 縮尺	1:20
図面番号	葉中之

建込簡易土留工標準図 縮尺 1:20

平面図



断面図



※土留の設置にあたっては現場条件を勘案し最適な方式を選定すること。

事業年度	令和 7 年度		
工事名	公共下水道汚水管布設工事第125工区		
図面名称	建込簡易土留工標準図		
工事箇所	鹿沼 郡	玉田 町	
	縦梁プレート式	縮尺	1:20
図面番号	葉中之		